

## 平成30年度（第3期） 特定健診・特定保健指導の実施状況に関する調査

令和2年11月  
健康保険組合連合会  
政策部 医療保険グループ 調査分析担当

本調査は、平成30年度（第3期）の1,034組合における特定健診・特定保健指導データをもとに、特定健診・特定保健指導の実施率や内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合、「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」の治療に係る薬剤の服薬者の割合等について考察したものです。

### 【調査結果のポイント】

#### 1. 特定健康診査の実施率

- 特定健康診査の対象者数（1,034組合）は906万1,710人、受診者数は709万6,879人で、実施率は78.3%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では89.8%、被扶養者では47.0%。

#### 2. 特定保健指導対象者の割合

- 特定健康診査の評価対象者数（1,034組合）は715万892人、特定保健指導の対象者数は132万2,955人で、特定保健指導対象者の割合は18.5%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると被保険者は20.6%、被扶養者は7.4%。

#### 3. 特定保健指導利用率の割合

- 特定保健指導対象者数（1,034組合）は132万2,955人、特定保健指導の利用者数は33万5,143人で、特定保健指導を利用した者の割合は25.3%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると被保険者は26.2%、被扶養者は12.5%。

#### 4. 特定保健指導の実施率

- 特定保健指導対象者数（1,034組合）は132万2,955人、特定保健指導の終了者数は32万8,618人で、特定保健指導実施率は24.8%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では25.7%、被扶養者では13.0%。

#### 5. 内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合

- 内臓脂肪症候群該当者の割合は13.6%、予備群の割合は12.5%となっており、被保険者・被扶養者別みると、該当者は被保険者：15.0%、被扶養者：4.0%、予備群は被保険者：14.0%、被扶養者：4.3%。
- 男女別にみると、該当者は男性：20.0%、女性：4.3%、予備群は男性：17.6%、女性：4.9%。

#### 6. 服薬の状況

- 「高血圧症の治療に係る薬剤を使用している者」の割合は14.6%、「脂質異常症」は9.7%、「糖尿病」は4.3%となっている。

## 目次

1. 特定健康診査の実施状況 .....	3
(1) 特定健康診査の実施率 .....	3
(2) 特定健康診査実施率の組合分布状況（カッコ内は構成割合） .....	4
2. 特定保健指導の実施状況 .....	5
(1) 特定保健指導対象者の割合 .....	5
(2) 特定保健指導の利用率 .....	6
(3) 特定保健指導の実施率 .....	7
(4) 特定保健指導レベル別にみた終了者数（構成割合） .....	8
(5) 年齢階層・保健指導実施区分別にみた特定保健指導の実施率 .....	9
(6) 年齢階層・保健指導実施区分別にみた積極的支援レベルの実施率 .....	11
(7) 特定保健指導実施率の組合分布状況（カッコ内は構成割合） .....	13
3. 内臓脂肪症候群の状況 .....	16
(1) 年齢階層別にみた内臓脂肪症候群該当者の割合 .....	16
(2) 年齢階層別にみた内臓脂肪症候群予備群の割合 .....	17
[参考] 男女別にみた内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合 .....	18
4. 服薬（高血圧症、脂質異常症、糖尿病）の状況 .....	19
(1) 高血圧症 .....	19
(2) 脂質異常症 .....	19
(3) 糖尿病 .....	21

### 組合形態（単一・総合）別にみた特定健康診査・特定保健指導の実施状況

1. 組合形態別にみた特定健康診査の実施状況 .....	23
(1) 特定健康診査の実施率 .....	23
(2) 年齢階層別特定健康診査の実施率 .....	24
(3) 特定健康診査実施率別の組合分布状況（カッコ内は形態別構成割合） .....	25
2. 組合形態別にみた特定保健指導の実施状況 .....	28
(1) 特定保健指導の実施率 .....	28
(2) 特定保健指導実施率別の組合分布状況（カッコ内は形態別構成割合） .....	29
(3) 組合形態・年齢階層別にみた保健指導区分別の実施率 .....	32

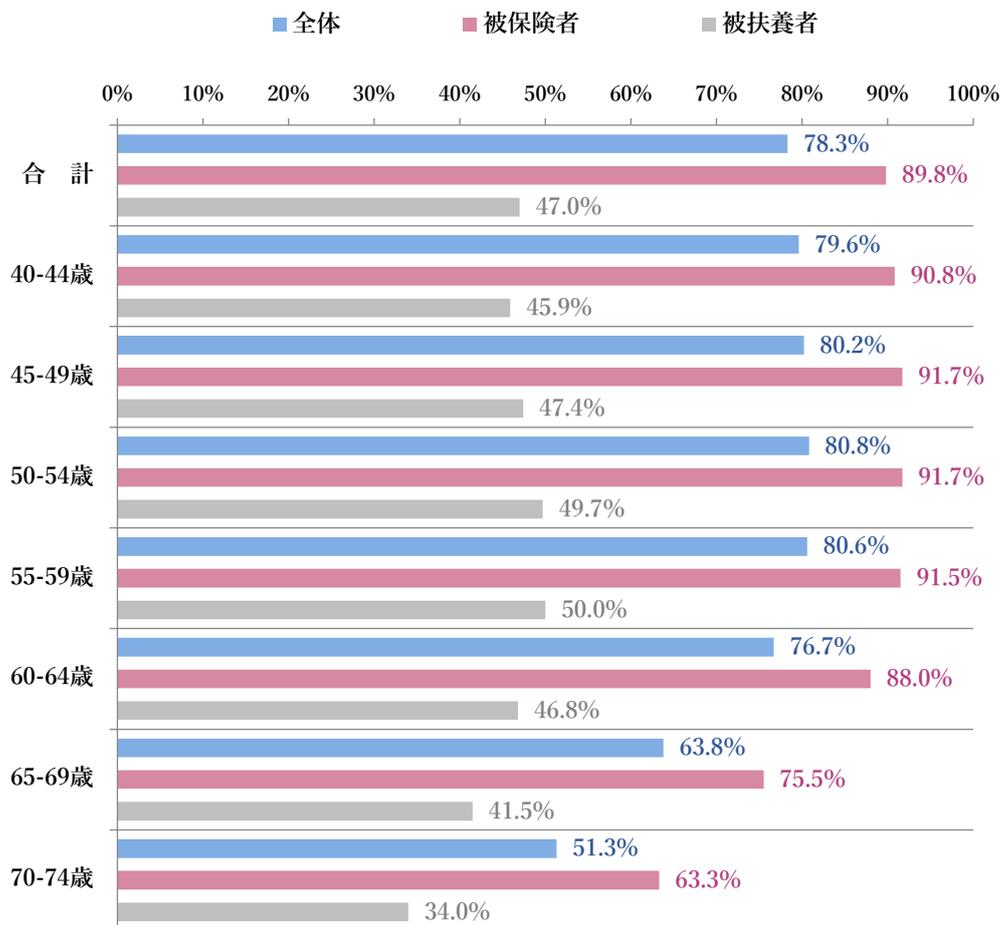
## 1. 特定健康診査の実施状況

### (1) 特定健康診査の実施率

- 平成30年度の特定健康診査の実施率は78.3%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者は89.8%、被扶養者は47.0%となっている。

	組合数	特定健診対象者数	特定健診受診者数	特定健診実施率
全体	1,034 組合	9,061,710 人	7,096,879 人	78.3%
被保険者		6,637,537 人	5,957,068 人	89.8%
被扶養者		2,424,173 人	1,139,811 人	47.0%

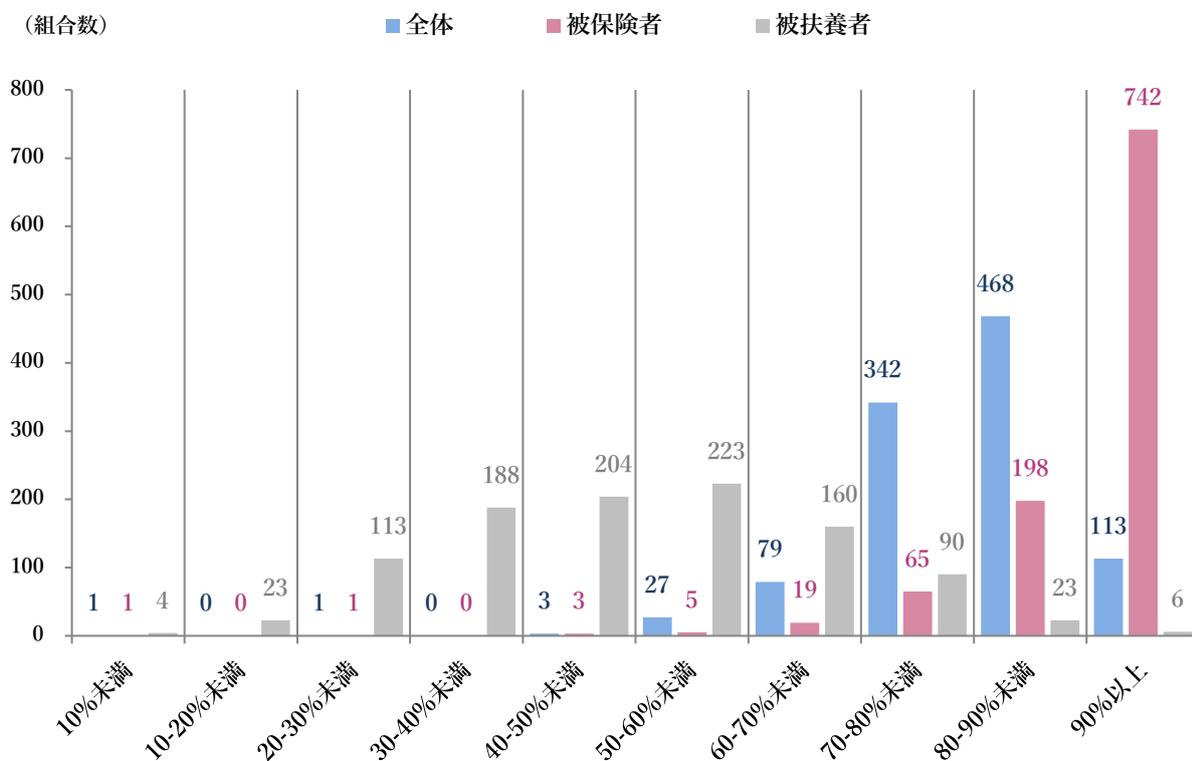
年齢階層別特定健康診査実施率



(2) 特定健康診査実施率の組合分布状況（カッコ内は構成割合）

- 特定健康診査実施率の組合分布状況をみると、実施率 80-90%未満：468 組合（45.3%）が最も多く、次いで、70-80%未満：342 組合（33.1%）、90%以上：113 組合（10.9%）となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では、実施率 90%以上：742 組合（71.8%）、80-90%未満：198 組合（19.1%）、70-80%未満：65 組合（6.3%）となっている。
- 被扶養者では、実施率 50-60%：223 組合（21.6%）、40-50%未満：204 組合（19.7%）、30-40%未満：188 組合（18.2%）となっている。

特定健康診査実施率の組合分布



特定健康診査実施率別構成割合

	10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90%以上
全体	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	2.6%	7.6%	33.1%	45.3%	10.9%
被保険者	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.3%	0.5%	1.8%	6.3%	19.1%	71.8%
被扶養者	0.4%	2.2%	10.9%	18.2%	19.7%	21.6%	15.5%	8.7%	2.2%	0.6%

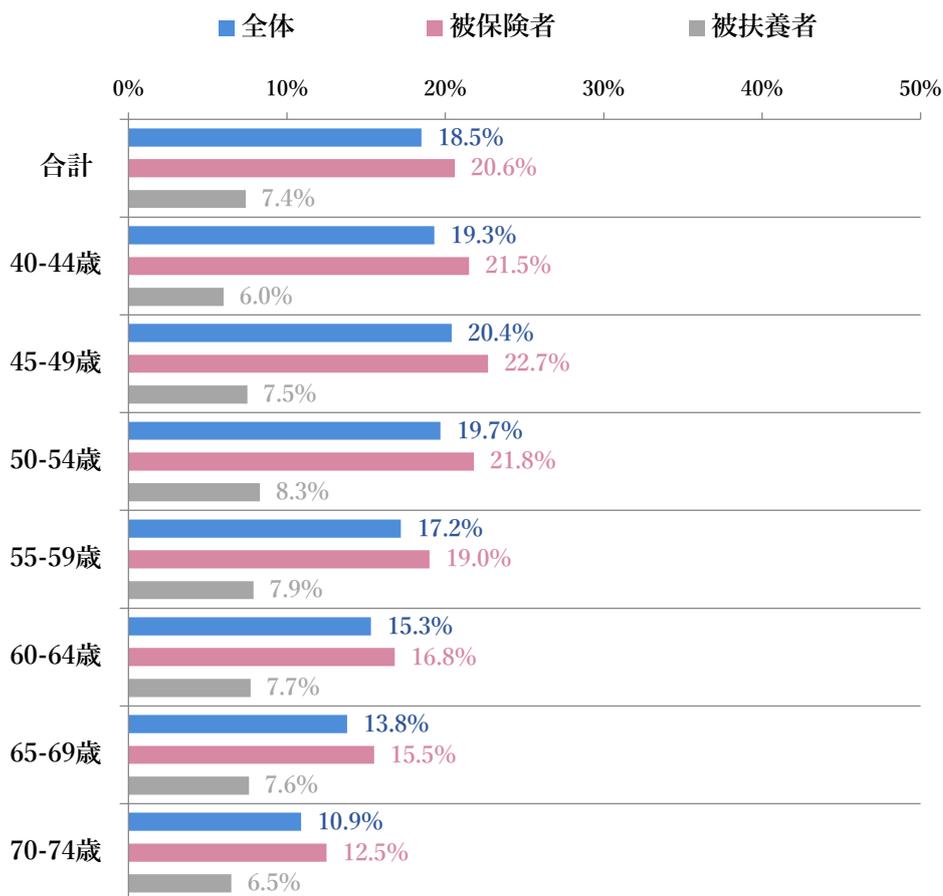
## 2. 特定保健指導の実施状況

### (1) 特定保健指導対象者の割合

- 平成30年度に特定健康診査を受けた者のうち、特定保健指導の対象者になった者の割合<sup>1</sup>は18.5%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者は20.6%、被扶養者は7.4%となっている。

	評価対象者数	特定保健指導対象者数	特定保健指導対象者の割合
全体	7,150,892人	1,322,955人	18.5%
被保険者	6,005,478人	1,237,684人	20.6%
被扶養者	1,145,414人	85,271人	7.4%

特定保健指導対象者の割合



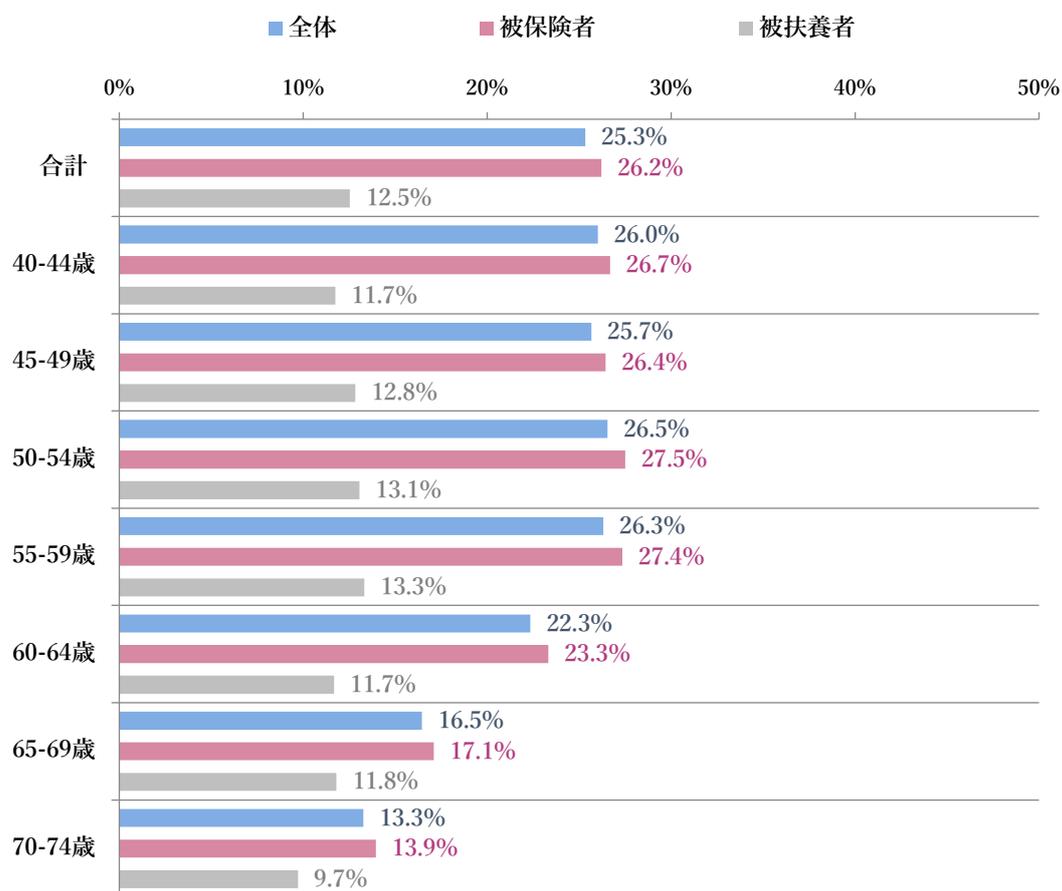
<sup>1</sup> 「特定保健指導対象者数」÷「評価対象者数」。

## (2) 特定保健指導の利用率

- 特定保健指導の対象者のうち、特定保健指導を利用した者<sup>2</sup>の割合（以下、「特定保健指導利用率」という）は25.3%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者は26.2%、被扶養者は12.5%となっている。

	特定保健指導対象者数	特定保健指導利用者数	特定保健指導利用率
全体	1,322,955 人	335,143 人	25.3%
被保険者	1,237,684 人	324,456 人	26.2%
被扶養者	85,271 人	10,687 人	12.5%

特定保健指導の利用率



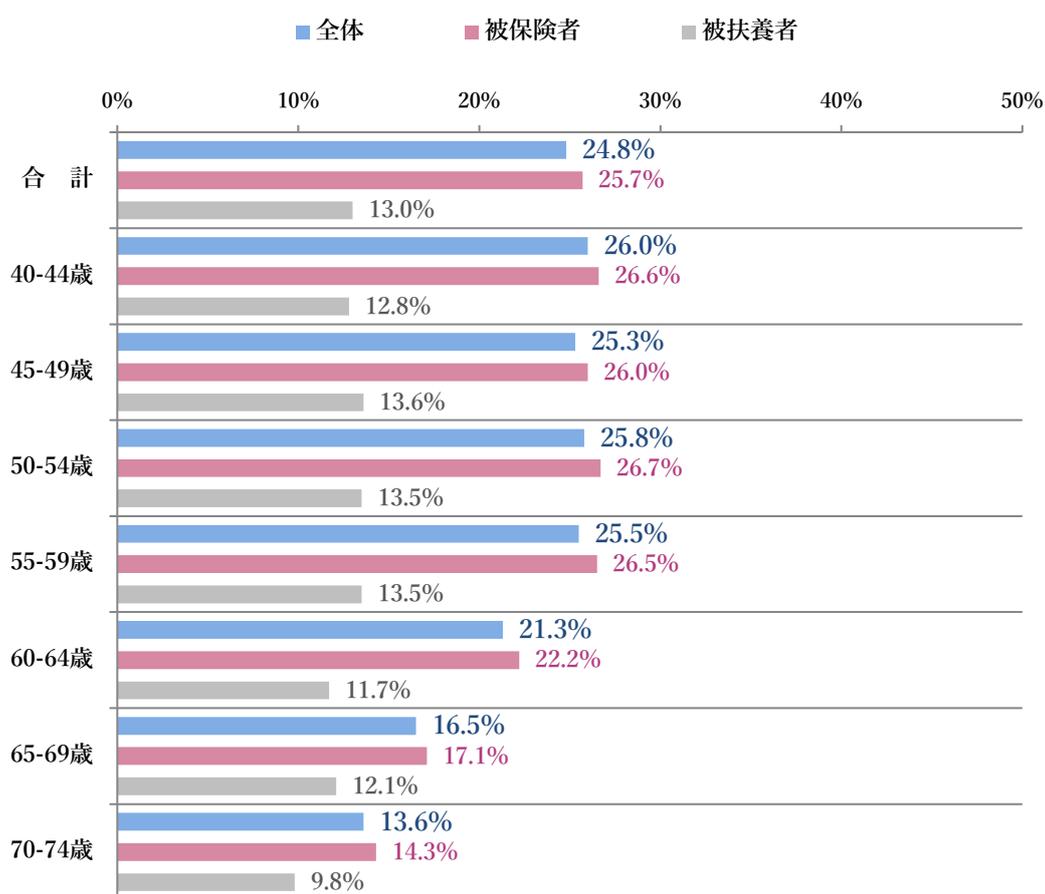
<sup>2</sup> 特定保健指導の対象者のうち、特定保健指導の実施方法（告示）に規定する支援を行った者で、少なくとも初回の面接は実施した者の数。

### (3) 特定保健指導の実施率

- 特定保健指導の対象者のうち、特定保健指導を終了した者の割合（以下、「特定保健指導利用率」という）は24.8%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者は25.7%、被扶養者は13.0%となっている。

	特定保健指導対象者数	特定保健指導終了者数	特定保健指導実施率
全体	1,322,955 人	328,618 人	24.8%
被保険者	1,237,684 人	317,497 人	25.7%
被扶養者	85,271 人	11,121 人	13.0%

年齢階層別特定保健指導実施率



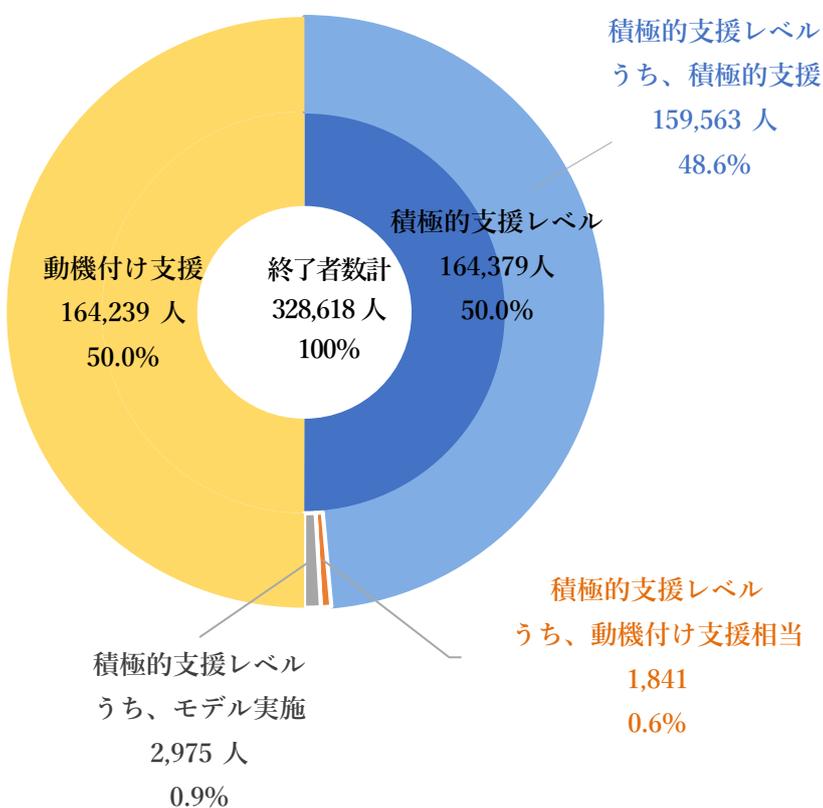
(4) 特定保健指導レベル別にみた終了者数（構成割合）

- 特定保健指導レベル別に終了者数をみると、①積極的支援レベル：164,379 人（構成割合 50.0%）、②動機付け支援レベル：164,239 人（同 50.0%）となっている。
- また、積極的支援レベルの内訳をみると、a) 積極的支援：159,563 人（同 48.6%）、b) 動機付け支援相当：1,841 人（同 0.6%）、c) モデル実施：2,975 人（同 0.9%）となっている。

保健指導レベル	保健指導区分	特定保健指導 終了者数	合計
①積極的支援レベル	a) 積極的支援	159,563 人	164,379 人
	b) 動機付け支援相当	1,841 人	
	c) モデル実施	2,975 人	
②動機付け支援レベル	動機付け支援	164,239 人	164,239 人
合計			328,618 人

注) 構成割合は、端数処理の関係上、合計が必ずしも 100%にならない場合がある。

特定保健指導レベル別終了者数及び構成割合



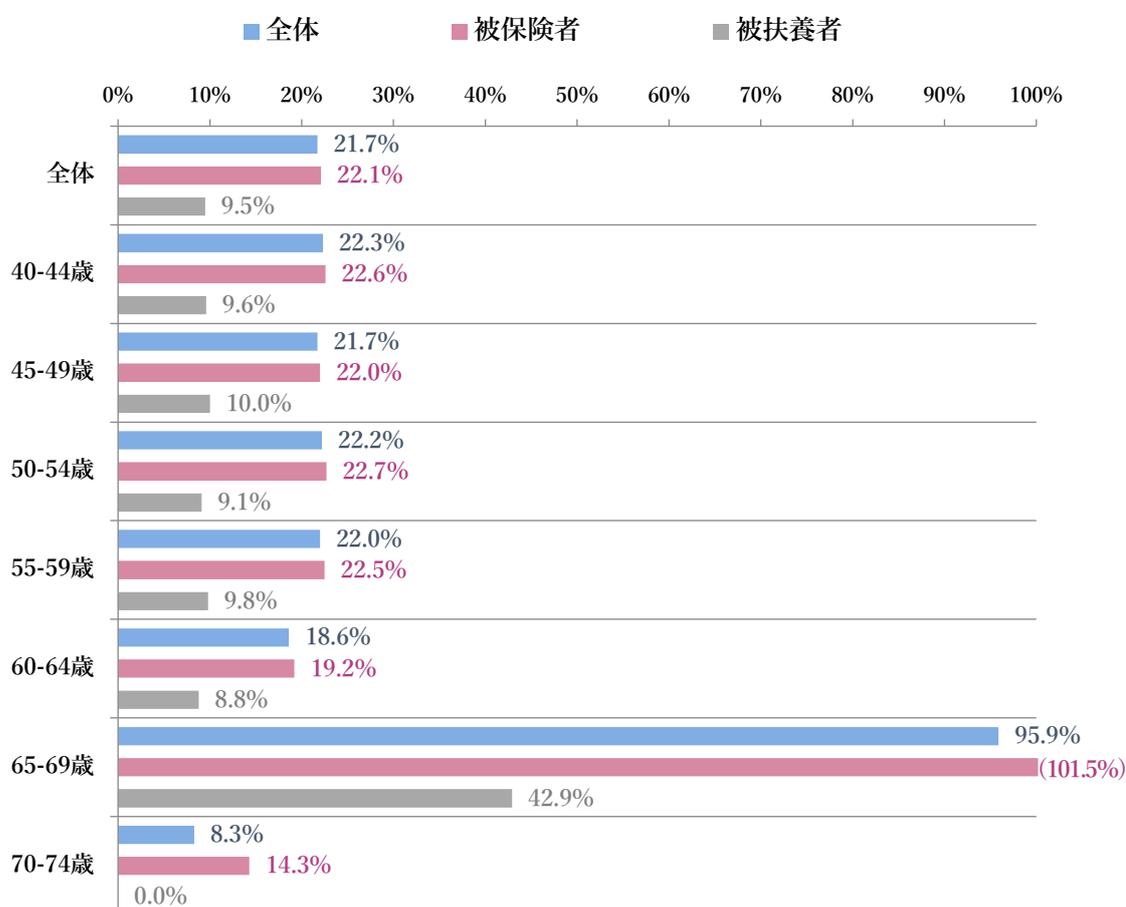
(5) 年齢階層・保健指導レベル別にみた特定保健指導の実施率<sup>3</sup>

①積極的支援レベル

- 積極的支援レベルは65-69歳：95.9%が最も高く、次いで、40-44歳：22.3%、50-54歳：22.2%となっている。
- 被保険者は、65-69歳：101.5%、50-54歳：22.7%、40-44歳：22.6%となっている。
- 被扶養者は、65-69歳：42.9%、45-49歳：10.0%、55-59歳：9.8%となっている

年齢階層別特定保健指導実施率

【積極的支援レベル】

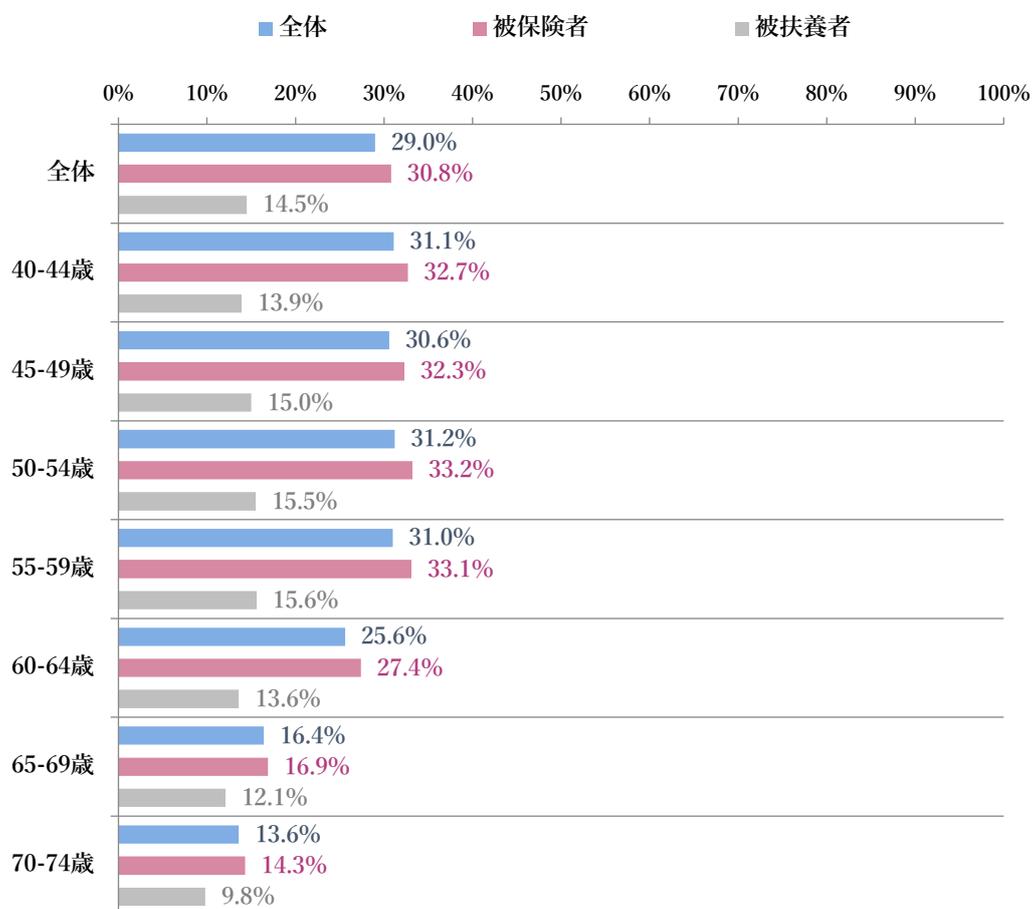


<sup>3</sup> 本調査で取り扱う特定保健指導の実施率は、国への実績報告に記録する特定保健指導実施率と同様に前年度繰越分を含む値となっている。このため、特定保健指導終了者数が特定保健指導対象者数を上回り、特定保健指導の実施率が100%を超えることがある。

## ②動機付け支援レベル

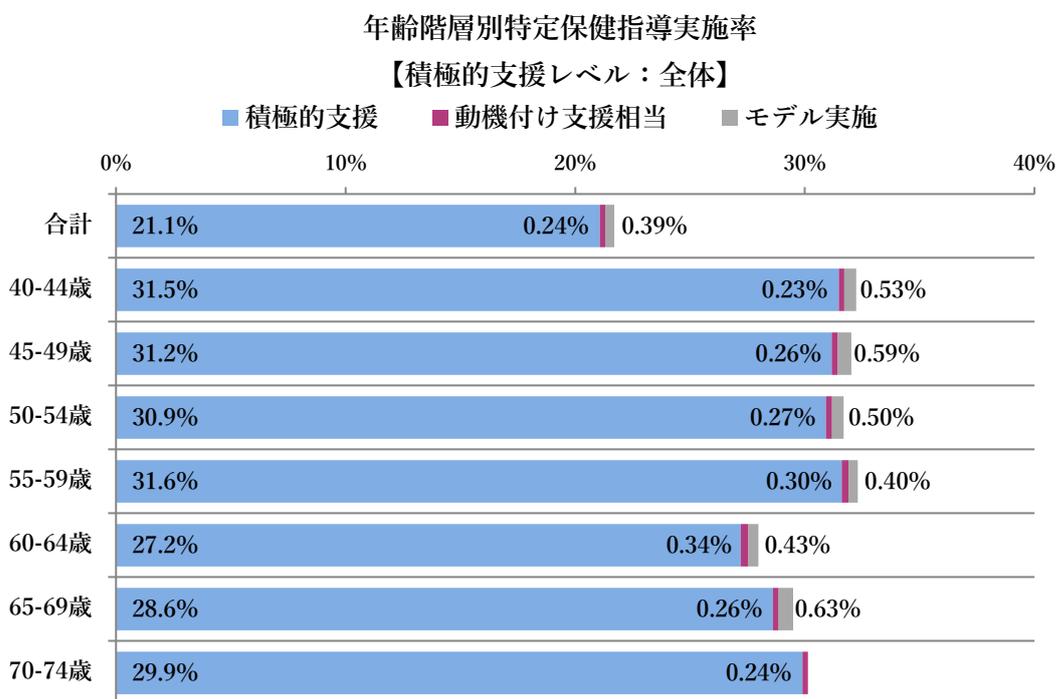
- 動機付け支援レベルは、50-54 歳：31.2%が最も高く、次いで、40-44 歳：31.1%、55-59 歳：31.0%となっている。
- 被保険者は、50-54 歳：33.2%、55-59 歳：33.1%、40-44 歳：32.7%となっている。
- 被扶養者は、55-59 歳：15.6%、50-54 歳：15.5%、45-49 歳：15.0%となっている。

年齢階層別特定保健指導実施率  
【動機付け支援レベル】



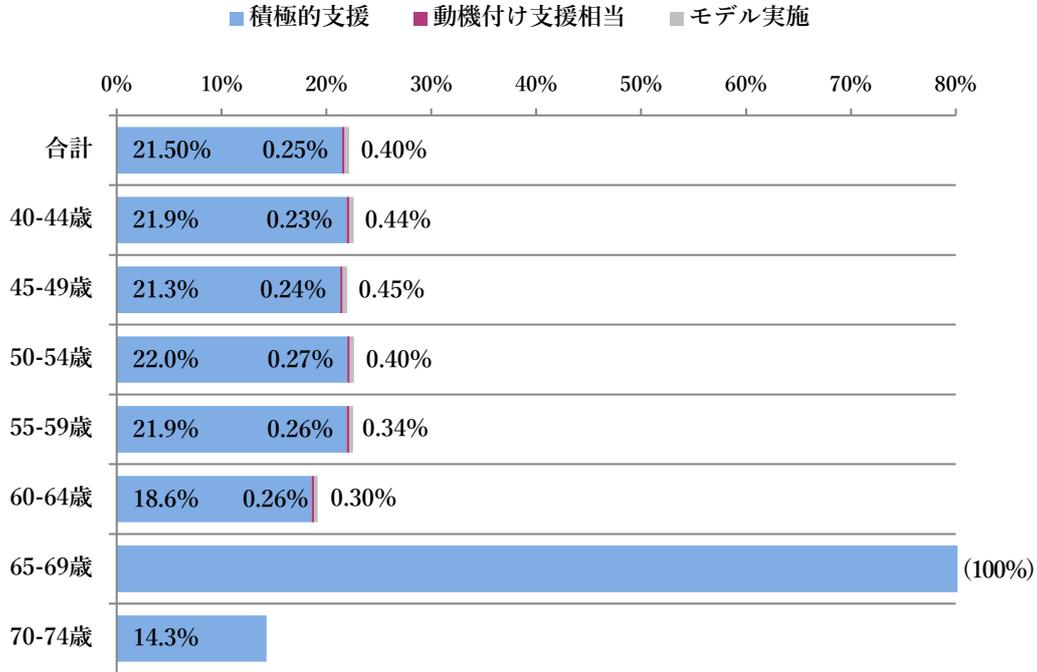
(6) 年齢階層・保健指導実施区分別にみた積極的支援レベルの実施率<sup>4</sup>

- 積極的支援レベルの保健指導実施区分別実施率をみると、①積極的支援 55-59 歳：31.6%、②動機付け支援相当 60-64 歳：0.34%、③モデル実施 45-49 歳：1.37%が最も高い。
- 被保険者では(P11)、①積極的支援 65-69 歳：100%、②動機付け支援相当 50-54 歳：0.27%、③モデル実施 45-49 歳：0.44%がそれぞれ最も高い。
- 被扶養者では、①積極的支援 65-69 歳：42.9%、②動機付け支援相当 60-64 歳：0.08%、③モデル実施 45-49 歳：0.14%がそれぞれ最も高い。

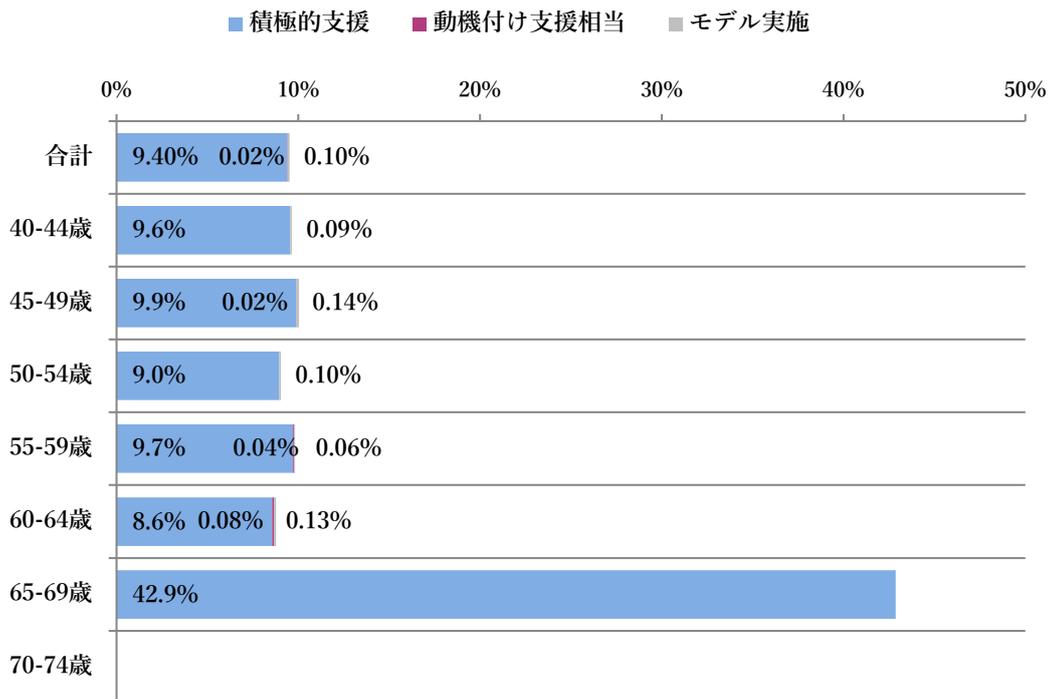


<sup>4</sup> 本調査で取り扱う特定保健指導の実施率は、国への実績報告に記録する特定保健指導実施率と同様に前年度繰越分を含む値となっている。このため、P8 同様、特定保健指導終了者数が特定保健指導対象者数を上回り、特定保健指導の実施率が 100%を超えることがある。

年齢階層別特定保健指導実施率  
【積極的支援レベル：被保険者】



年齢階層別特定保健指導実施率  
【積極的支援レベル：被扶養者】



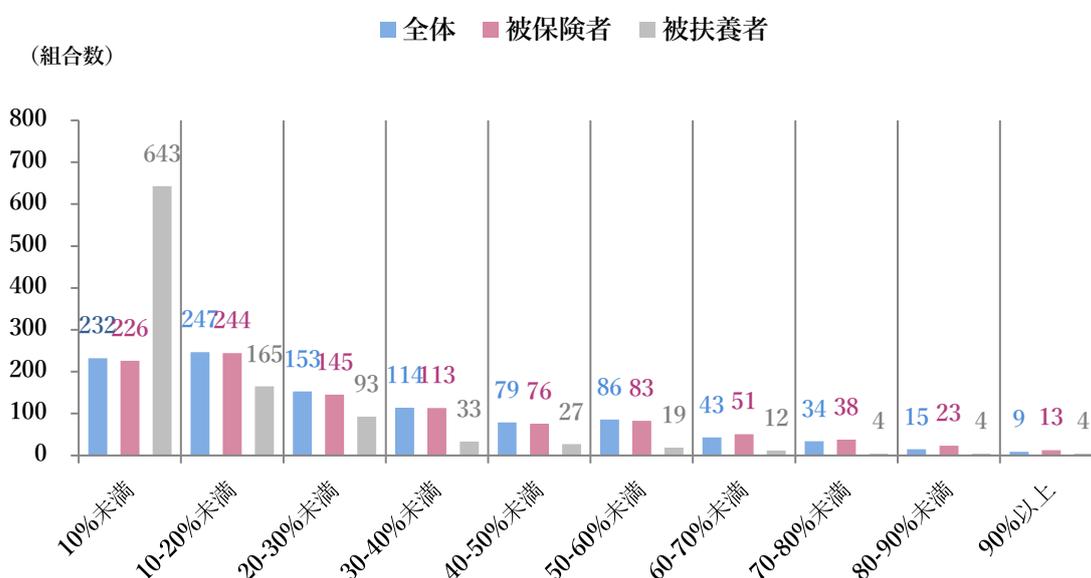
(7) 特定保健指導実施率の組合分布状況<sup>5</sup> (カッコ内は構成割合)

①全体

- 特定保健指導実施率の組合分布状況をみると、実施率 10-20%未満：247 組合 (24.4%) が最も多く、次いで、10%未満：232 組合 (22.9%)、20-30%未満：153 組合 (15.1%) となっている。
- 被保険者では、実施率 10-20%未満：244 組合 (24.1%)、10%未満：226 組合 (22.3%)、20-30%未満 145 組合 (14.3%) となっている。
- 被扶養者では、実施率 10%未満：643 組合 (64.0%)、10-20%未満：165 組合 (16.4%)、20-30%未満：93 組合 (9.3%) となっている。

特定保健指導実施率の組合分布

【全体】



特定健康指導実施率別構成割合

	10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90%以上
全体	22.9%	24.4%	15.1%	11.3%	7.8%	8.5%	4.2%	3.4%	1.5%	0.9%
被保険者	22.3%	24.1%	14.3%	11.2%	7.5%	8.2%	5.0%	3.8%	2.3%	1.3%
被扶養者	64.0%	16.4%	9.3%	3.3%	2.7%	1.9%	1.2%	0.4%	0.4%	0.4%

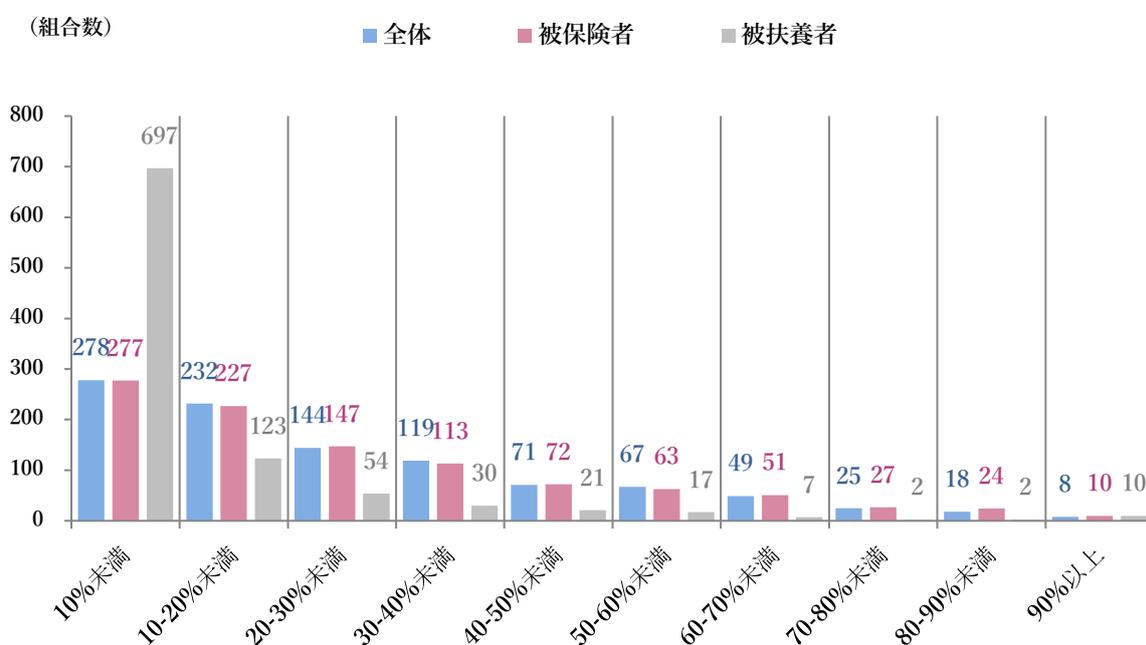
<sup>5</sup> 特定保健指導対象者が存在しない場合、集計対象から除外しているため、組合数 (1,034 組合) が一致しない。

## ②積極的支援レベル

- 「積極的支援レベル」について組合分布状況を見ると、実施率10%未満:278組合(27.5%)が最も多く、次いで、10-20%未満:232組合(22.9%)、20-30%未満:144組合(14.2%)となっている。
- 被保険者では、10%未満:277組合(27.4%)が最も多く、10-20%未満:227組合(22.5%)、20-30%未満147組合(14.5%)となっている。
- 被扶養者では、実施率10%未満:697組合(72.4%)、10-20%未満:123組合(12.8%)、20-30%未満:54組合(5.6%)となっている。

特定保健指導実施率の組合分布

### 【積極的支援レベル】



特定健康指導実施率別構成割合

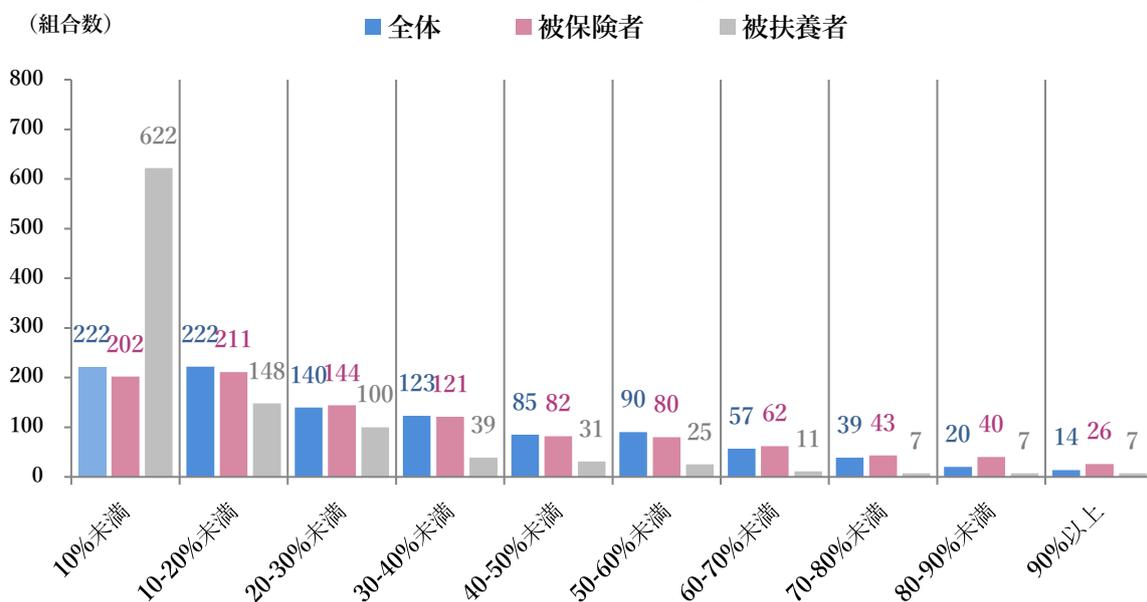
	10%未満	10-20%未満	20-30%未満	30-40%未満	40-50%未満	50-60%未満	60-70%未満	70-80%未満	80-90%未満	90%以上
全体	27.5%	22.9%	14.2%	11.8%	7.0%	6.6%	4.8%	2.5%	1.8%	0.8%
被保険者	27.4%	22.5%	14.5%	11.2%	7.1%	6.2%	5.0%	2.7%	2.4%	1.0%
被扶養者	72.4%	12.8%	5.6%	3.1%	2.2%	1.8%	0.7%	0.2%	0.2%	1.0%

### ③動機付け支援レベル

- 「動機づけ支援レベル」について組合分布状況を見ると、実施率 10%未満：222 組合（21.9%）、10-20%未満：222 組合（21.9%）が最も多く、次いで、20-30%未満：140 組合（13.8%）となっている。
- 被保険者では、実施率 10-20%未満：211 組合（20.9%）が最も多く、次いで、10%未満：202 組合（20.0%）、20-30%未満：144 組合（14.2%）となっている。
- 被扶養者では、実施率 10%未満：622 組合（62.4%）が最も多く、次いで、10-20%未満：148 組合（14.8%）、20-30%未満：100 組合（10.0%）となっている。

特定保健指導実施率の組合分布

【動機付け支援レベル】



特定健康指導実施率別構成割合

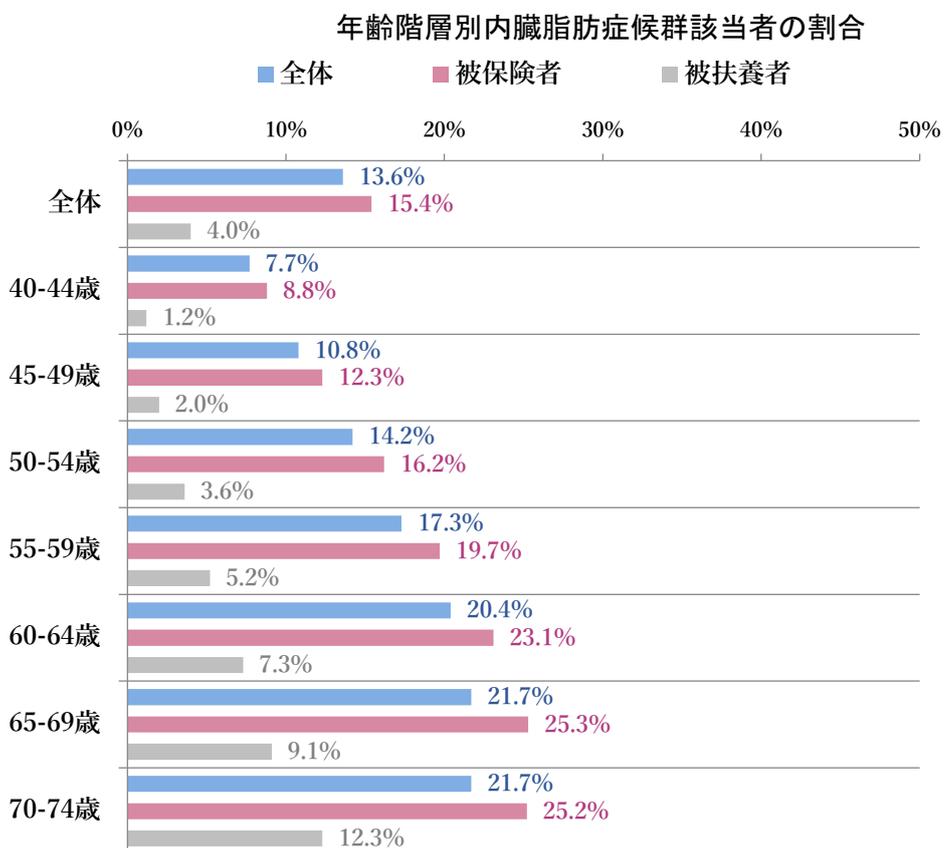
	10% 未満	10-20% 未満	20-30% 未満	30-40% 未満	40-50% 未満	50-60% 未満	60-70% 未満	70-80% 未満	80-90% 未満	90% 以上
全体	21.9%	21.9%	13.8%	12.2%	8.4%	8.9%	5.6%	3.9%	2.0%	1.4%
被保険者	20.0%	20.9%	14.2%	12.0%	8.1%	7.9%	6.1%	4.3%	4.0%	2.6%
被扶養者	62.4%	14.8%	10.0%	3.9%	3.1%	2.5%	1.1%	0.7%	0.7%	0.7%

### 3. 内臓脂肪症候群の状況

#### (1) 年齢階層別にみた内臓脂肪症候群該当者の割合

- 平成30年度の内臓脂肪症候群該当者<sup>6</sup>の割合<sup>7</sup>は13.6%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者は15.4%、被扶養者は4.0%となっている。

	評価対象者数	内臓脂肪症候群該当者数	内臓脂肪症候群該当者の割合
全体	7,150,892 人	972,499 人	13.6%
被保険者	6,005,478 人	926,636 人	15.4%
被扶養者	1,145,414 人	45,863 人	4.0%



<sup>6</sup> 内臓脂肪の蓄積（腹囲測定等）に加え、血中脂質、血圧、血糖の基準のうち、2つ以上に該当する者。

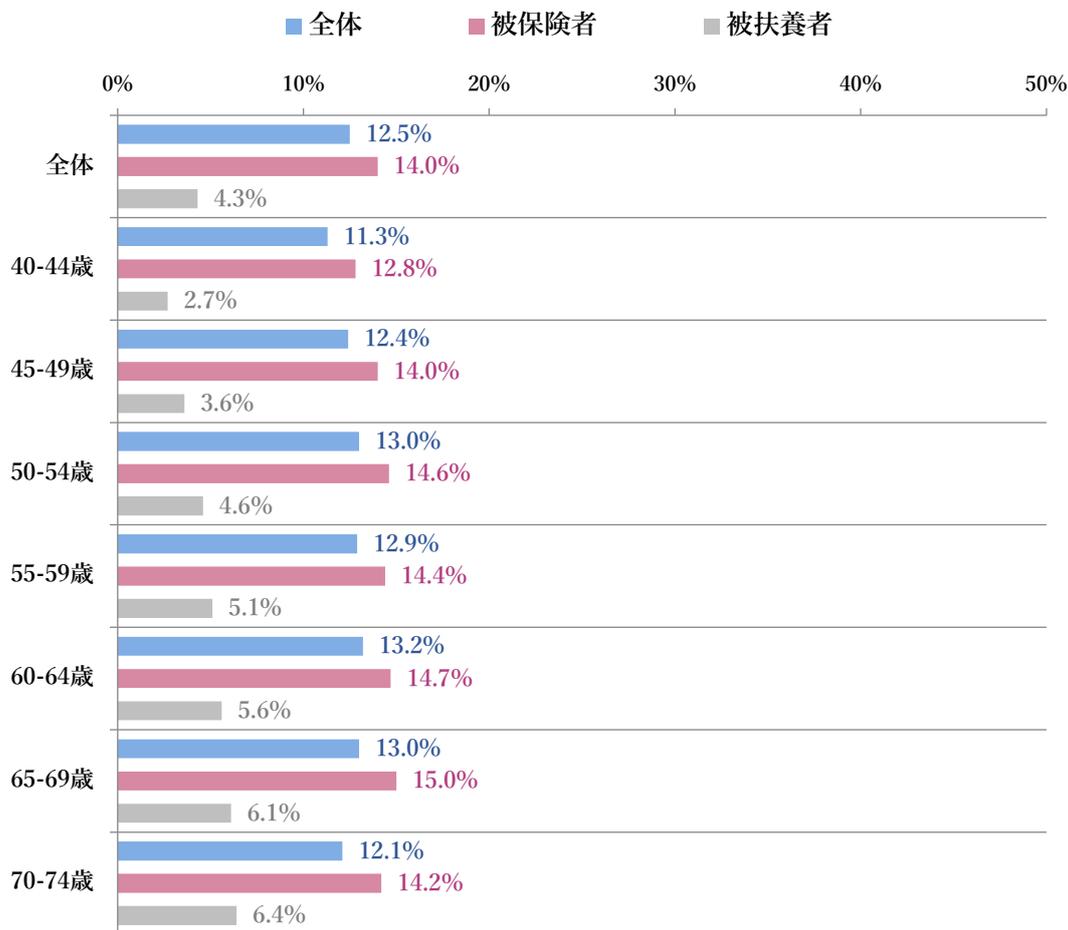
<sup>7</sup> 内臓脂肪症候群該当者数÷評価対象者数。なお、国が公表する報告書等、健診受診者数を分母として算出する場合がある。

(2) 年齢階層別にみた内臓脂肪症候群予備群の割合

- 平成 30 年度の内臓脂肪症候群予備群<sup>8</sup>の割合<sup>9</sup>は 12.5%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者は 14.0%、被扶養者は 4.3%となっている。

	評価対象者数	内臓脂肪症候群予備群数	内臓脂肪症候群予備群の割合
全体	7,150,892 人	892,660 人	12.5%
被保険者	6,005,478 人	842,912 人	14.0%
被扶養者	1,145,414 人	49,748 人	4.3%

年齢階層別内臓脂肪症候群予備群の割合



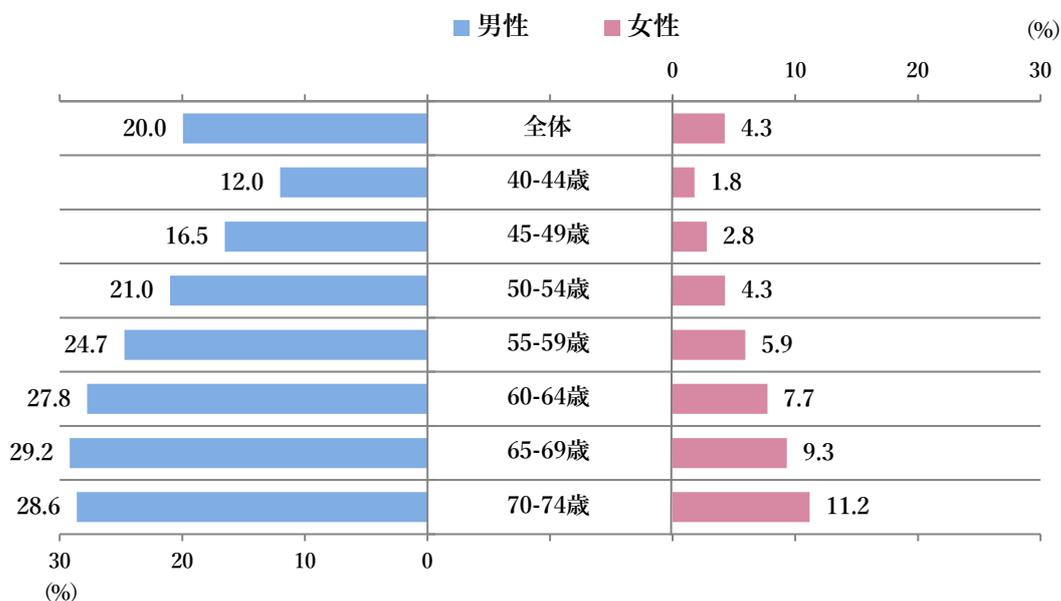
<sup>8</sup> 内臓脂肪の蓄積（腹囲測定等）に加え、血中脂質、血圧、血糖の基準の1つに該当する者。

<sup>9</sup> 内臓脂肪症候群予備群者数÷評価対象者数。なお、国が公表する報告書等、健診受診者数を分母として算出する場合がある。

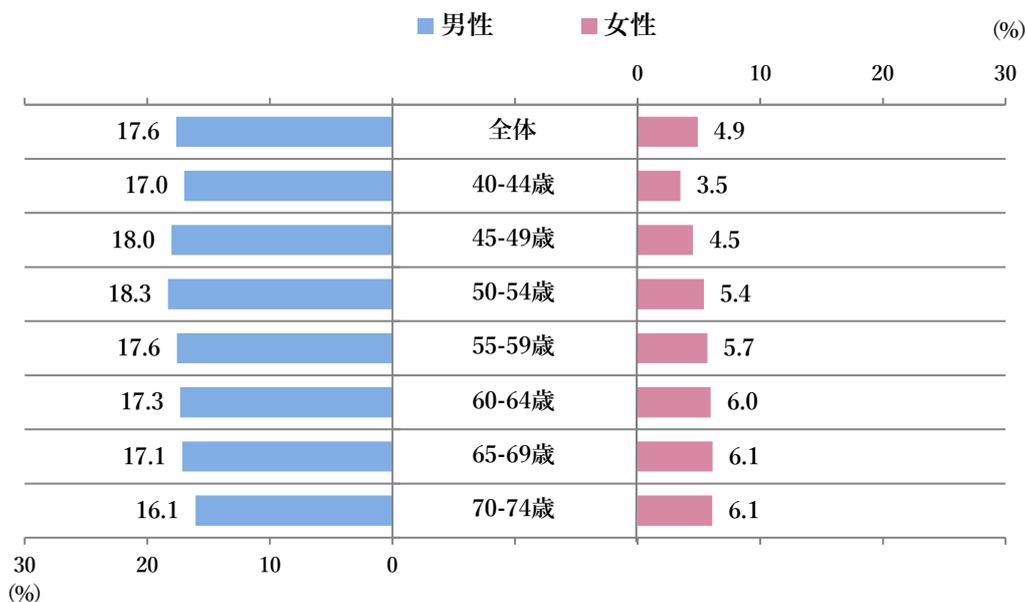
【参考】 男女別にみた内臓脂肪症候群該当者・予備群の割合

- 内臓脂肪症候群該当者の割合を男女別にみると、男性：20.0%、女性：4.3%と男性が圧倒的に高く、年齢階層別にみると、男性では65-69歳：29.2%、女性では70-74歳：11.2%が最も高い。
- 内臓脂肪症候群予備群の割合をみると、男性：17.6%、女性：4.9%と男性が圧倒的に高く、年齢階層別にみると、男性では50-54歳：18.3%、女性では65-69歳及び70-74歳：6.1%が最も高い。

男女別内臓脂肪症候群該当者の割合



男女別内臓脂肪症候群予備群の割合



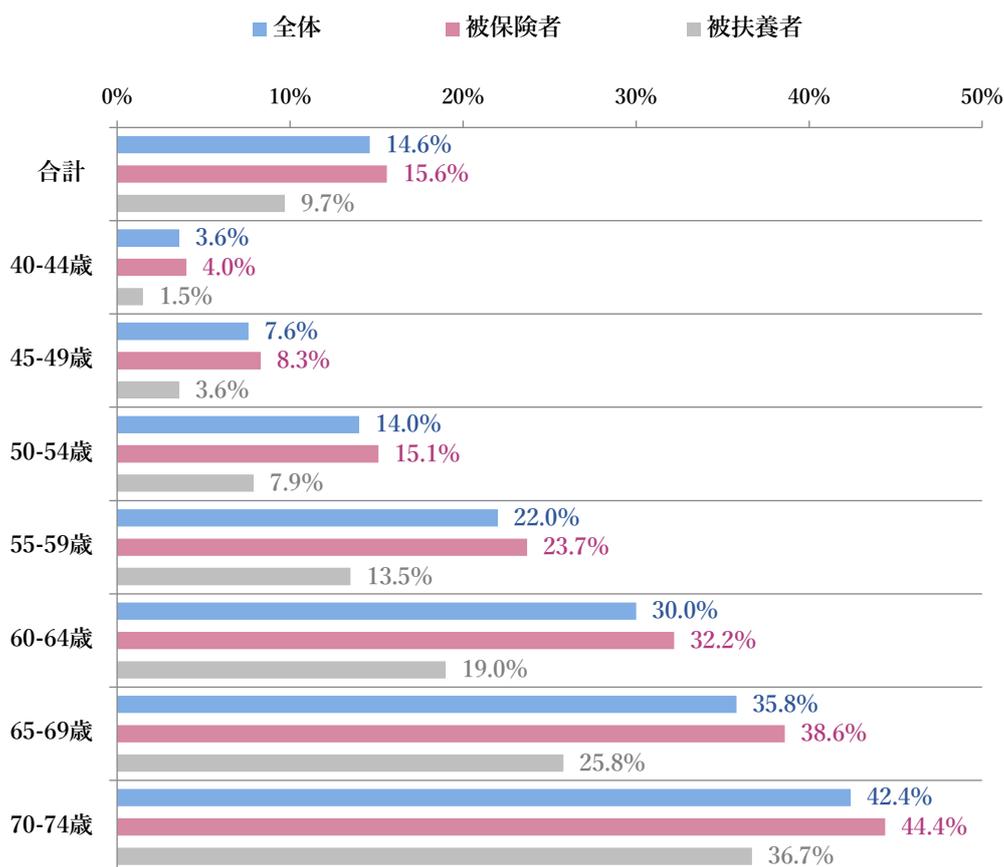
#### 4. 服薬（高血圧症、脂質異常症、糖尿病）の状況

##### （1）高血圧症

- 高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の割合<sup>10</sup>は14.6%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では、15.6%、被扶養者では、9.7%となっている。

	評価対象者数	高血圧症者数	高血圧症の割合
全体	7,150,892 人	892,660 人	14.6%
被保険者	6,005,478 人	935,473 人	15.6%
被扶養者	1,145,414 人	111,021 人	9.7%

高血圧の治療に係る薬剤を服用している者の割合



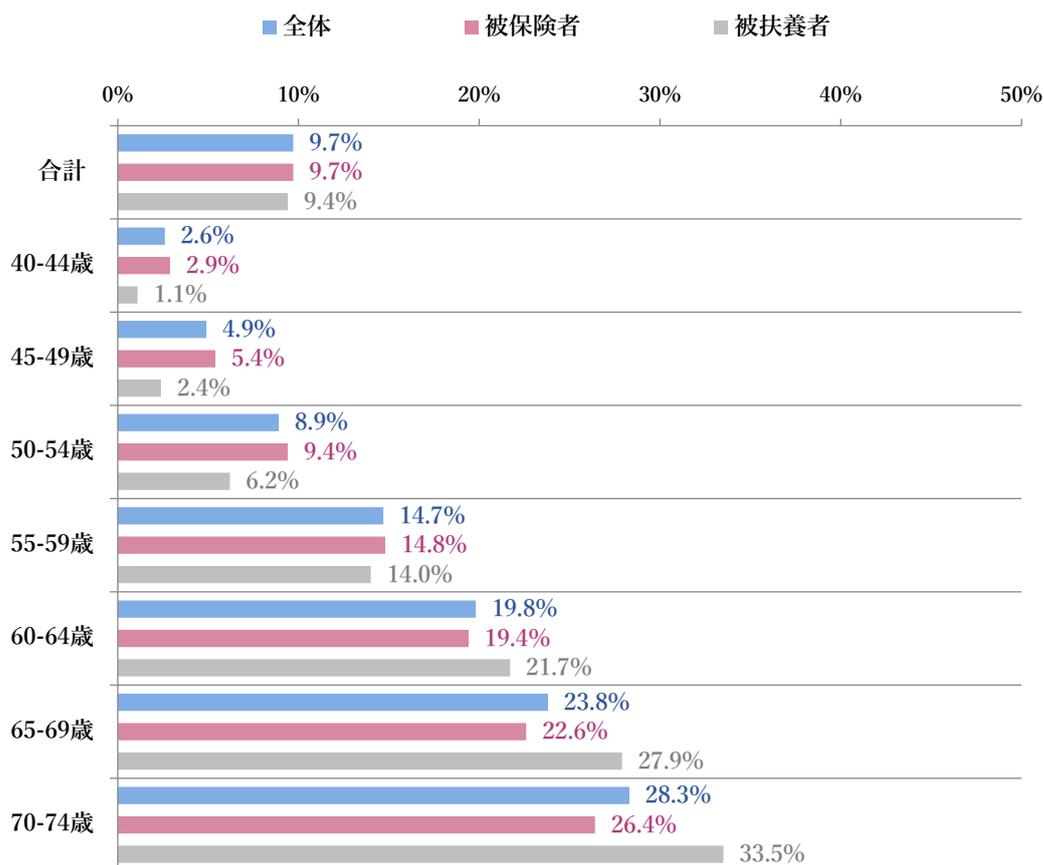
<sup>10</sup> 高血圧症の治療に係る薬剤を服用している者の数÷評価対象者数。なお、これらの割合は、高血圧症及び脂質異常症、糖尿病の治療に係る薬剤を重複して服用している者を含めた割合である。

## (2) 脂質異常症

- 脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者<sup>11</sup>の割合は9.7%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では、9.7%となっており、被扶養者では、9.4%となっている。

	評価対象者数	脂質異常症者数	脂質異常症の割合
全体	7,150,892 人	690,357 人	9.7%
被保険者	6,005,478 人	582,725 人	9.7%
被扶養者	1,145,414 人	107,632 人	9.4%

脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の割合

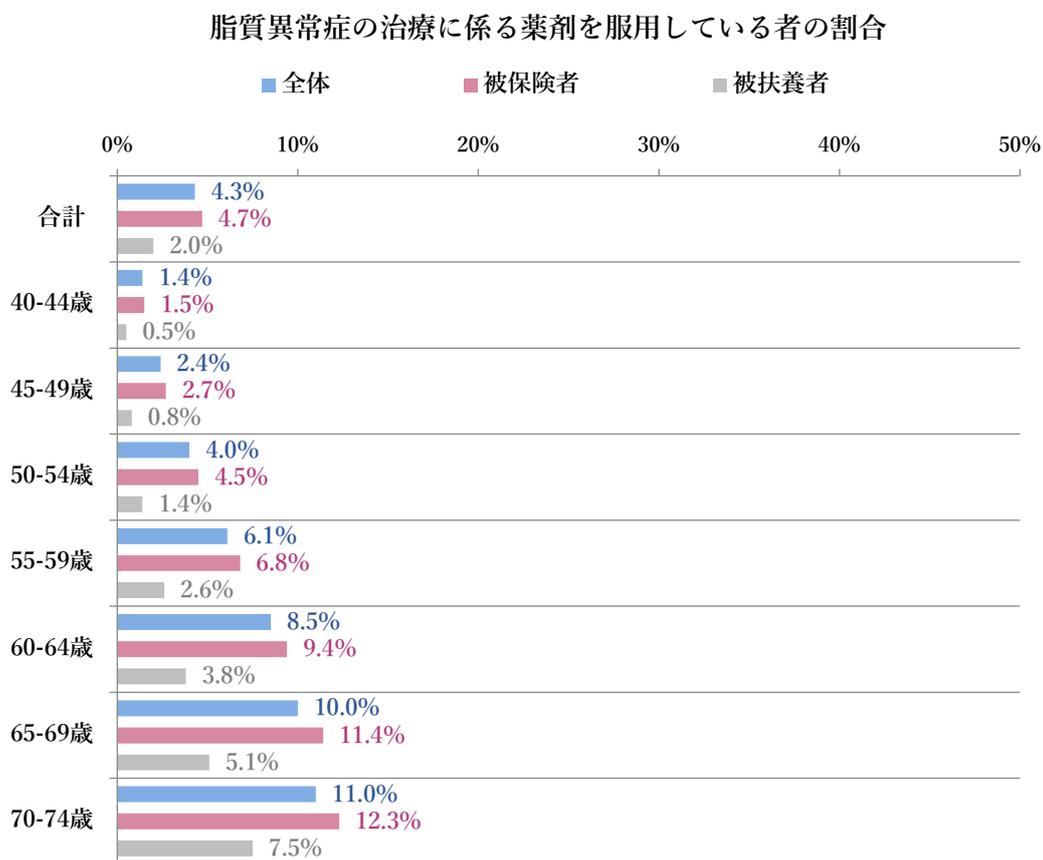


<sup>11</sup> 脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者の数÷評価対象者数。なお、これらの割合は、高血圧症及び脂質異常症、糖尿病の治療に係る薬剤を重複して服用している者を含めた割合である。

### (3) 糖尿病

- 糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の割合<sup>12</sup>は4.3%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では、4.7%となっており、被扶養者では、2.0%となっている。

	評価対象者数	糖尿病患者数	糖尿病の割合
全体	7,150,892 人	304,512 人	4.3%
被保険者	6,005,478 人	282,131 人	4.7%
被扶養者	1,145,414 人	22,381 人	2.0%



<sup>12</sup> 糖尿病の治療に係る薬剤を服用している者の数÷評価対象者数。なお、これらの割合は、高血圧症及び脂質異常症、糖尿病の治療に係る薬剤を重複して服用している者を含めた割合である。

## 組合形態（単一・総合）別にみた特定健康診査・特定保健指導の実施状況

### 1. 組合形態別にみた特定健康診査の実施状況

(1) 特定健康診査の実施率.....	23
(2) 年齢階層別特定健康診査の実施率.....	24
(3) 特定健康診査実施率別の組合分布状況（構成割合） .....	25

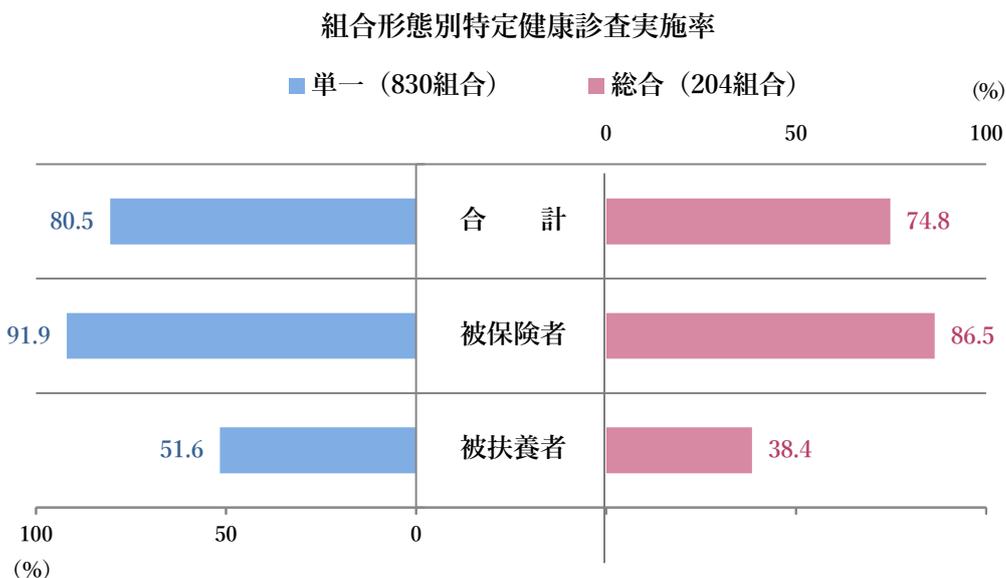
### 2. 組合形態別にみた特定保健指導の実施状況

(1) 特定保健指導の実施率.....	28
(2) 特定保健指導実施率別の組合分布状況（構成割合） .....	29
(3) 組合形態・年齢階層別にみた保健指導区分別の実施率 .....	32

## 1. 組合形態別にみた特定健康診査の実施状況

### (1) 特定健康診査の実施率

- 組合形態別に特定健康診査の実施率をみると、全体では単一組合：80.5%、総合組合：74.8%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では単一組合：91.9%、総合組合：86.5%、被扶養者では単一組合：51.6%、総合組合：38.4%となっている。



区分	特定健診対象者数	特定健診受診者数	特定健診実施率
単一組合（830組合）	5,609,605人	4,515,344人	80.5%
総合組合（204組合）	3,452,105人	2,581,535人	74.8%

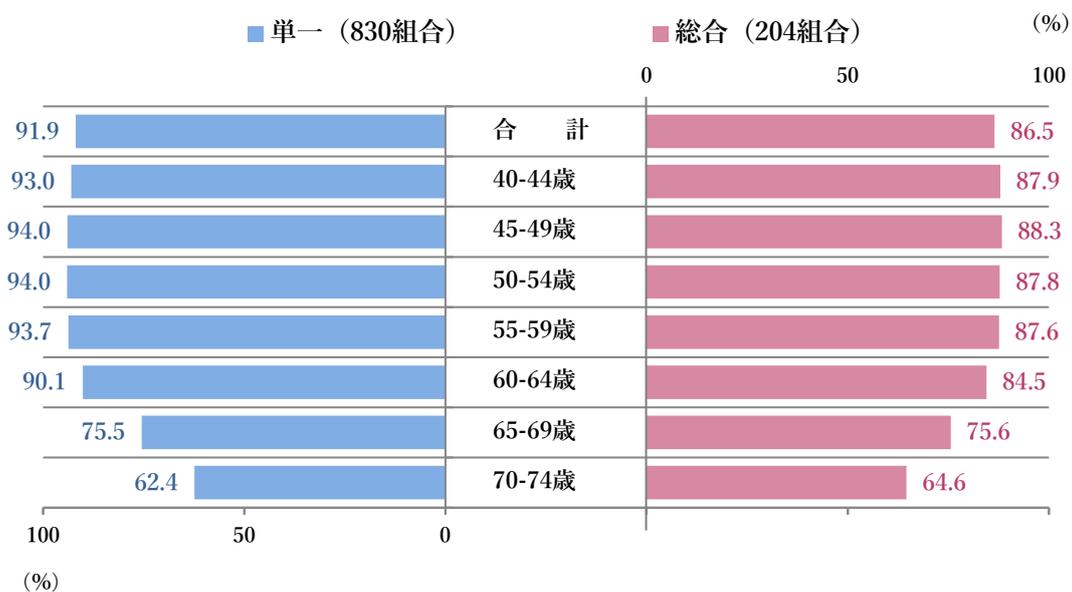
区分	形態	特定健診対象者数	特定健診受診者数	特定健診実施率
被保険者	単一	4,025,579人	3,698,244人	91.9%
	総合	2,611,958人	2,258,824人	86.5%
被扶養者	単一	1,584,026人	817,100人	51.6%
	総合	840,147人	322,711人	38.4%

(2) 年齢階層別特定健康診査の実施率

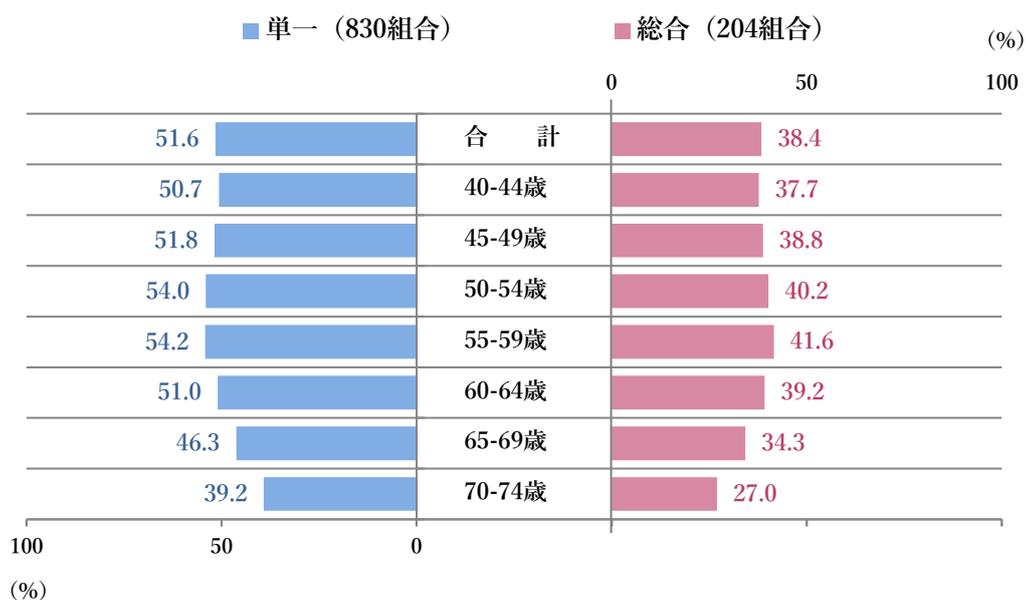
- 被保険者の特定健康診査の実施率をみると、単一組合では45-49歳及び50-54歳：94.0%が最も高い。総合組合では45-49歳：88.3%が最も高い。
- 被扶養者についてみると、単一組合では55-59歳：54.2%が最も高い。総合組合では55-59歳：41.6%が最も高い。

年齢階層別特定健康診査実施率

【被保険者】



【被扶養者】

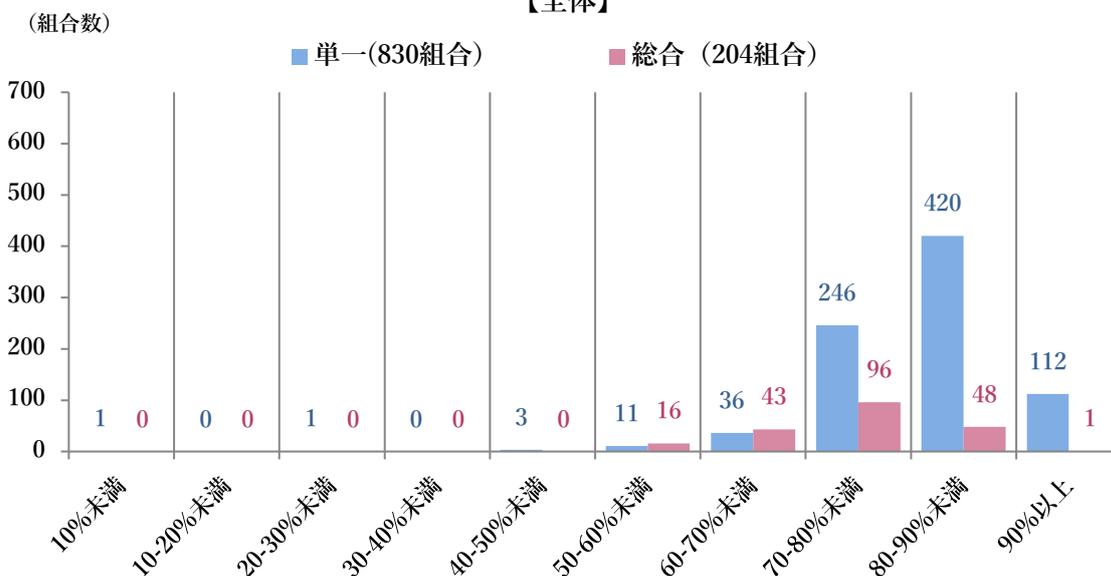


(3) 特定健康診査実施率別の組合分布状況（カッコ内は形態別構成割合）

- 組合形態別に特定健康診査実施率の組合分布状況をみると、単一組合では 80-90%未満：420 組合（50.6%）が最も多く、次いで、70-80%未満：246 組合（29.6%）、90%以上：112 組合（13.5%）となっている。
- 一方、総合組合では、70-80%未満：96 組合（47.1%）が最も多く、次いで、80-90%未満：48 組合（23.5%）、60-70%未満：43 組合（21.1%）となっている

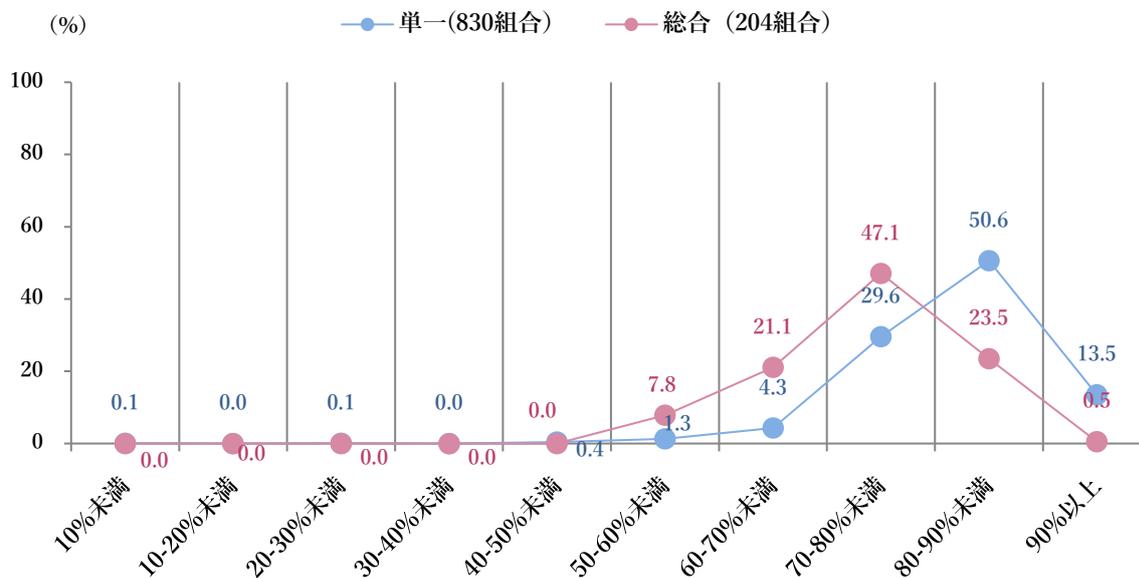
特定健康診査実施率別組合数

【全体】



特定健康診査実施率別構成割合

【全体】

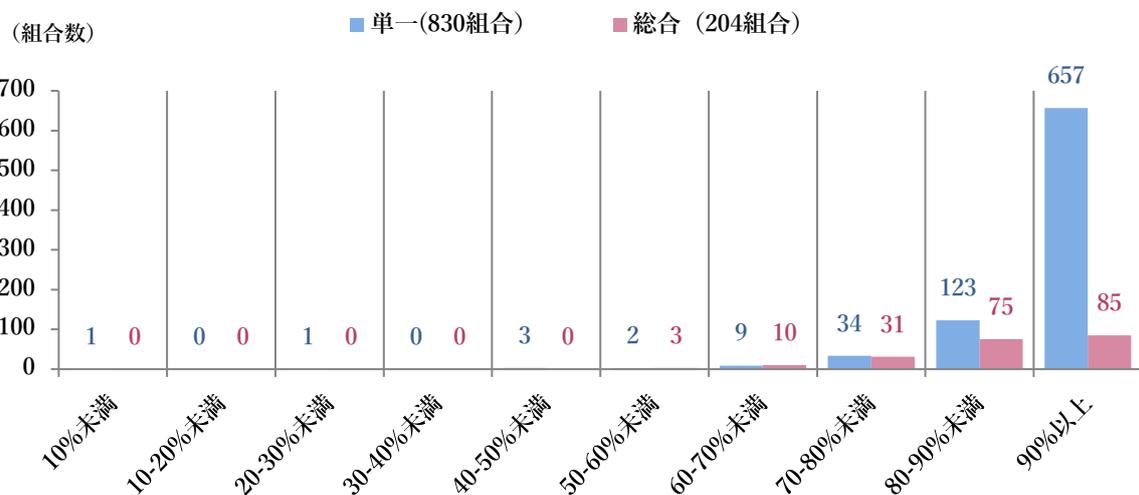


① 被保険者

- 被保険者について特定健康診査実施率の組合分布状況をみると、単一組合では90%以上：657組合（79.2%）が最も多く、次いで、80-90%未満：123組合（14.8%）、70-80%未満：34組合（4.1%）となっている。
- 一方、総合組合では90%以上：85組合（41.7%）が最も多く、次いで、80-90%未満：75組合（36.8%）、70-80%未満：31組合（15.2%）となっている。

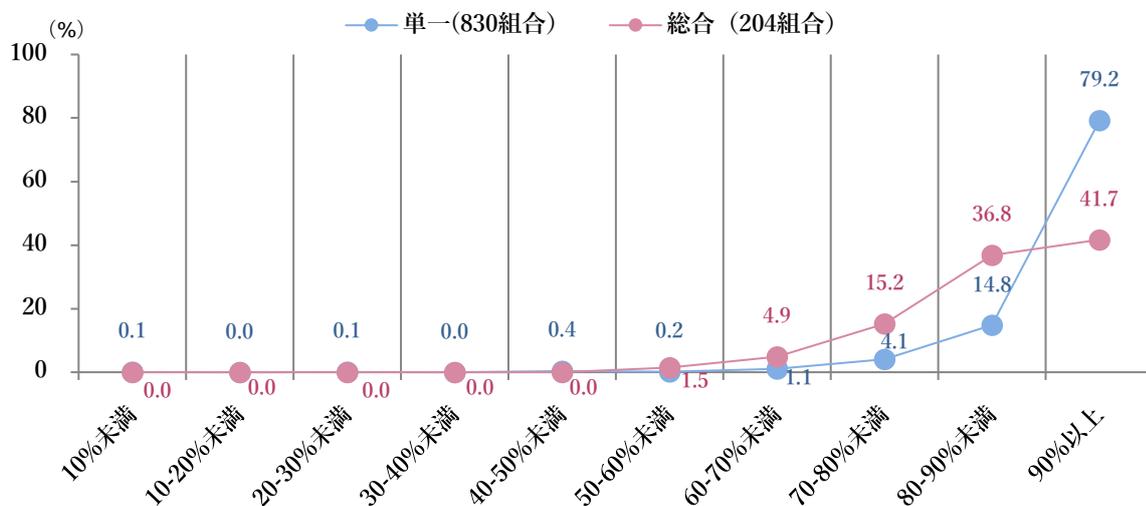
特定健康診査実施率別組合数

【被保険者】



特定健康診査実施率別構成割合

【被保険者】

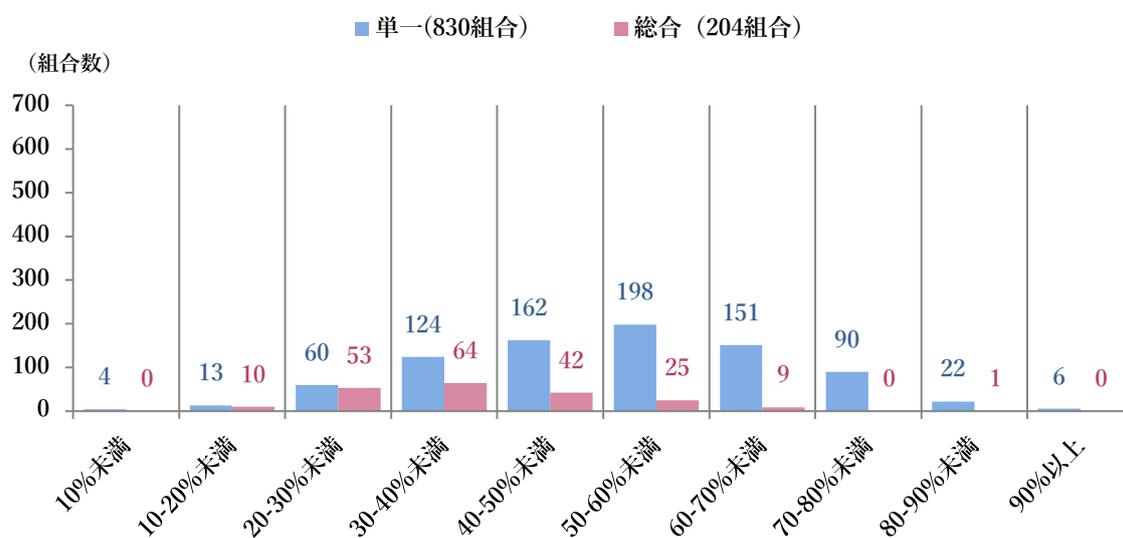


## ② 被扶養者

- 被扶養者について特定健康診査実施率の組合分布状況をみると、単一組合では50-60%未満：198組合（23.9%）が最も多く、次いで、40-50%未満：162組合（19.5%）、60-70%未満：151組合（18.2%）となっている。
- 一方、総合組合では30-40%未満：64組合（31.4%）が最も多く、次いで、20-30%未満：53組合（26.0%）、40-50%未満：42組合（20.6%）となっている。

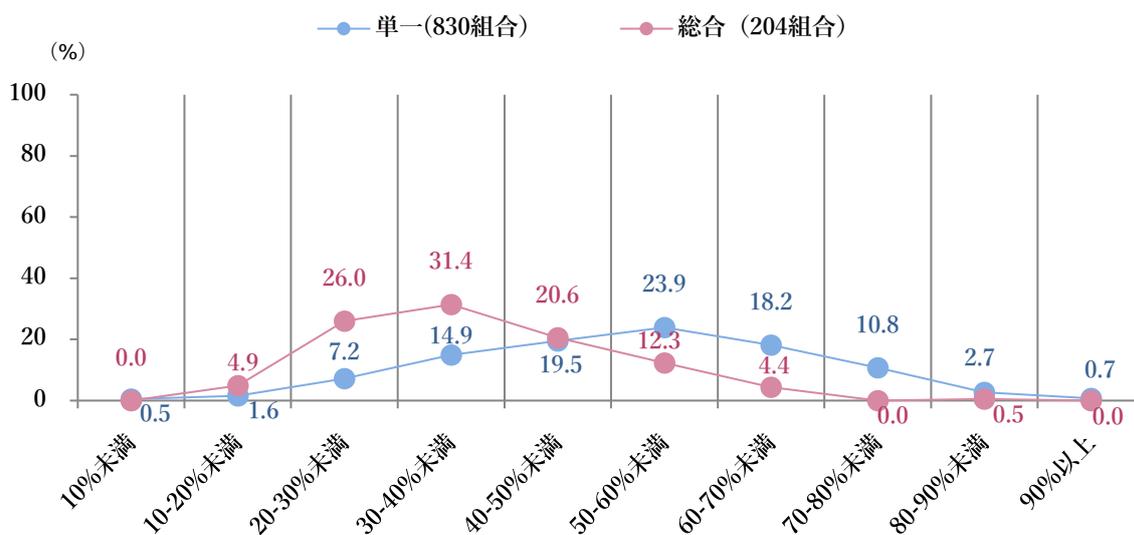
特定健康診査実施率別組合数

【被扶養者】



特定健康診査実施率別構成割合

【被扶養者】

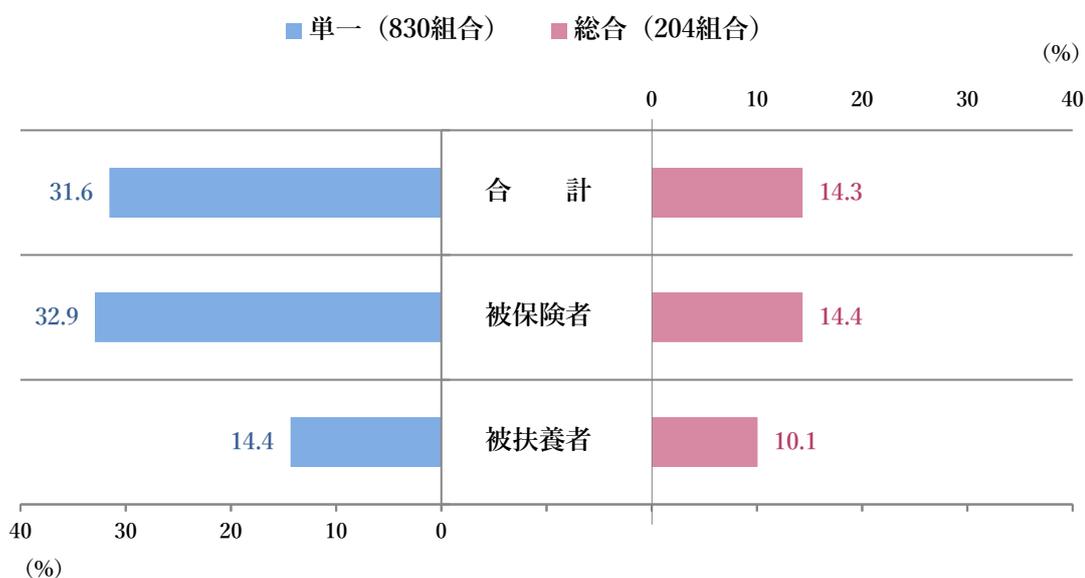


## 2. 組合形態別にみた特定保健指導の実施状況

### (1) 特定保健指導の実施率<sup>13</sup>

- 組合形態別に特定保健指導実施率をみると、全体では単一組合：31.6%、総合組合：14.3%となっている。
- 被保険者・被扶養者別にみると、被保険者では単一組合：32.9%、総合組合：14.4%、被扶養者では単一組合：14.4%、総合組合：10.1%となっている。

組合形態別特定保健指導実施率



区分	特定保健指導対象者数	特定保健指導終了者数	特定保健指導実施率
単一組合 (830 組合)	806,848 人	254,589 人	31.6%
総合組合 (204 組合)	516,107 人	74,029 人	14.4%

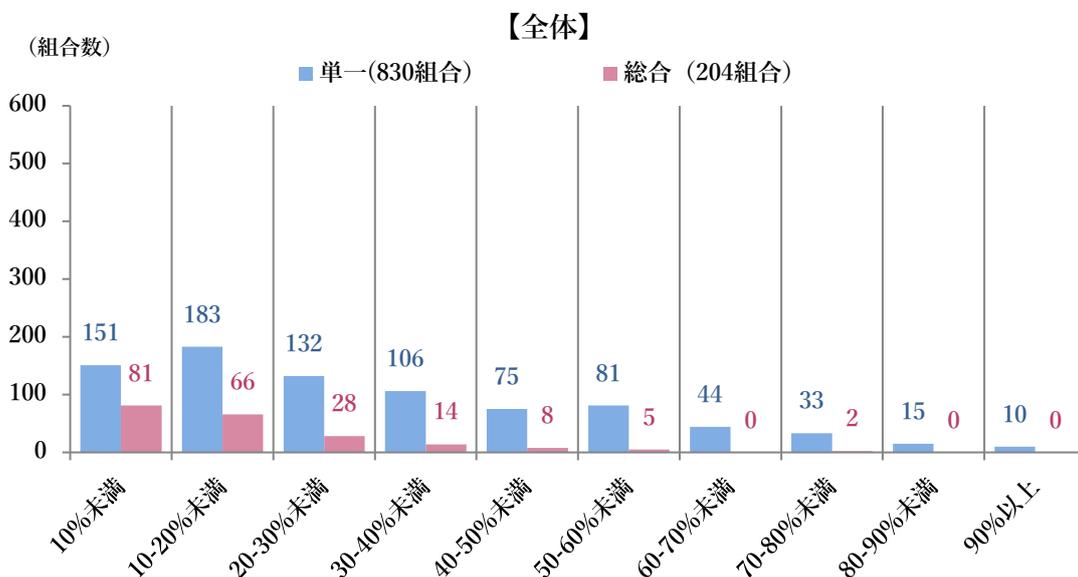
区分	形態	特定保健指導対象者数	特定保健指導終了者数	特定保健指導実施率
被保険者	単一	747,634 人	246,090 人	32.9%
	総合	490,050 人	71,407 人	14.6%
被扶養者	単一	59,214 人	8,499 人	14.4%
	総合	26,057 人	2,622 人	10.1%

<sup>13</sup> 本調査で取り扱う特定保健指導の実施率は、国への実績報告に記録する特定保健指導実施率と同様に前年度繰越分を含む値となっている。このため、特定保健指導終了者数が特定保健指導対象者数を上回り、特定保健指導の実施率が100%を超えることがある。

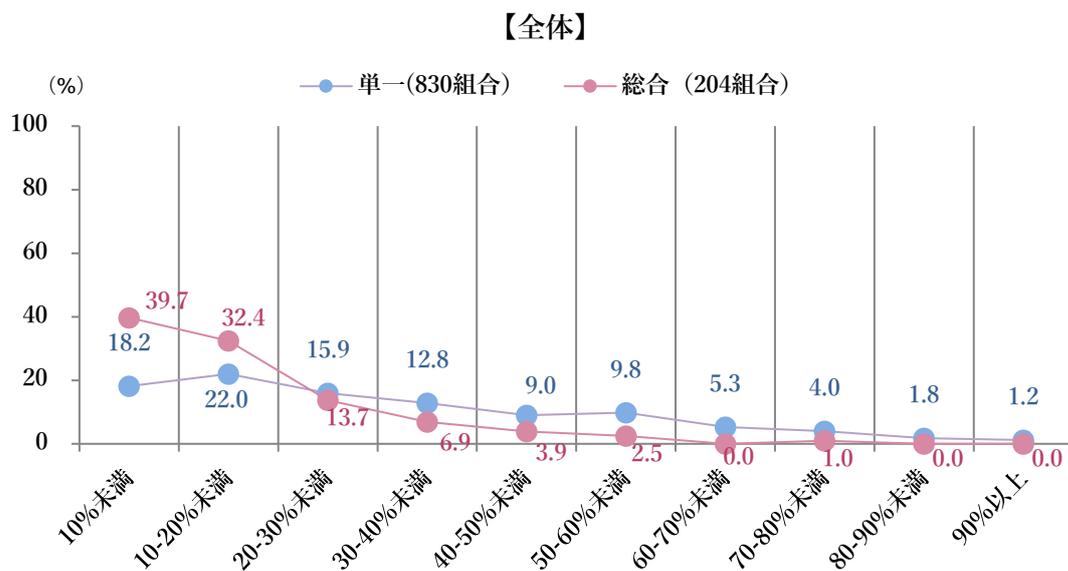
(2) 特定保健指導実施率別の組合分布状況 (カッコ内は形態別構成割合)

- 組合形態別に特定保健指導実施率の組合分布をみると、単一組合では10-20%未満：183組合 (22.0%) が最も多く、次いで、10%未満：151組合 (18.2%)、20-30%未満：132組合 (15.9%) となっている。
- 一方、総合組合では、10%未満：81組合 (39.7%) が最も多く、次いで、10-20%未満：66組合 (32.4%)、20-30%未満：28組合 (13.7%) となっている。

特定保健指導実施率別組合数



特定保健指導実施率別構成割合

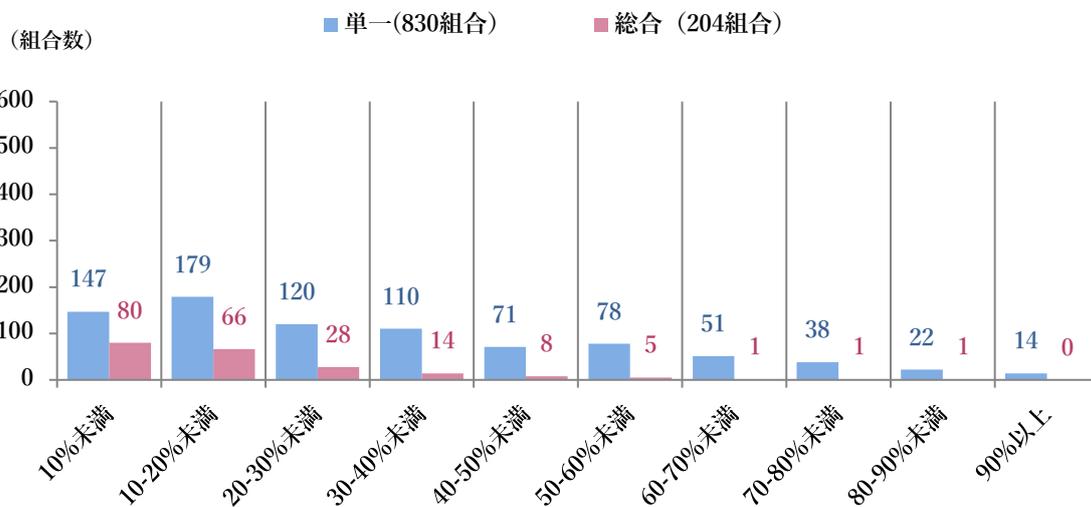


① 被保険者

- 被保険者について特定保健指導実施率の組合分布状況をみると、単一組合では10-20%未満：179組合（21.6%）が最も多く、次いで、10%未満：147組合（17.7%）、20-30%未満：120組合（14.5%）となっている。
- 一方、総合組合では、10%未満：80組合（39.2%）が最も多く、次いで、10-20%未満：66組合（32.4%）、20-30%未満：28組合（13.7%）となっている。

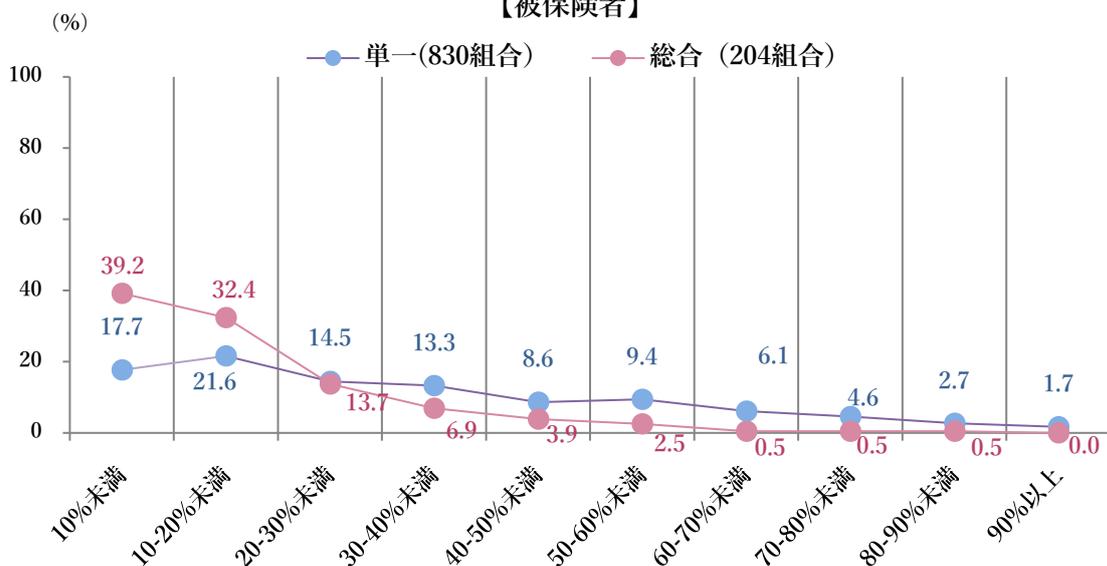
特定保健指導実施率別組合数

【被保険者】



特定保健指導実施率別構成割合

【被保険者】

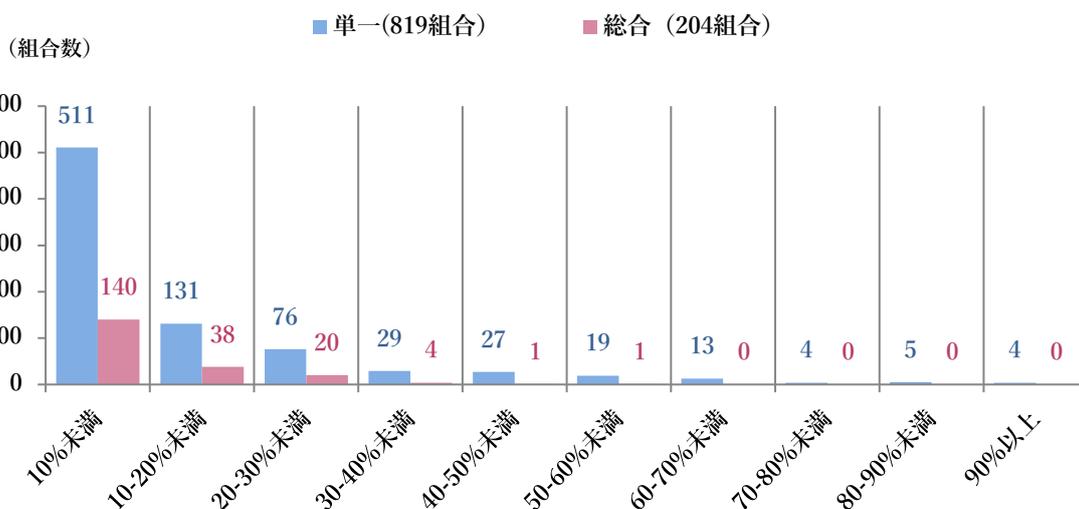


## ②被扶養者

- 被扶養者について特定保健指導実施率の組合分布状況をみると、単一組合では10%未満：511組合（62.9%）が最も多く、次いで、10-20%未満：131組合（15.8%）、20-30%未満：76組合（9.2%）となっている。<sup>14</sup>
- 一方、総合組合では、10%未満：140組合（68.6%）が最も多く、次いで、10-20%未満：38組合（18.6%）、20-30%未満：20組合（9.8%）となっている。

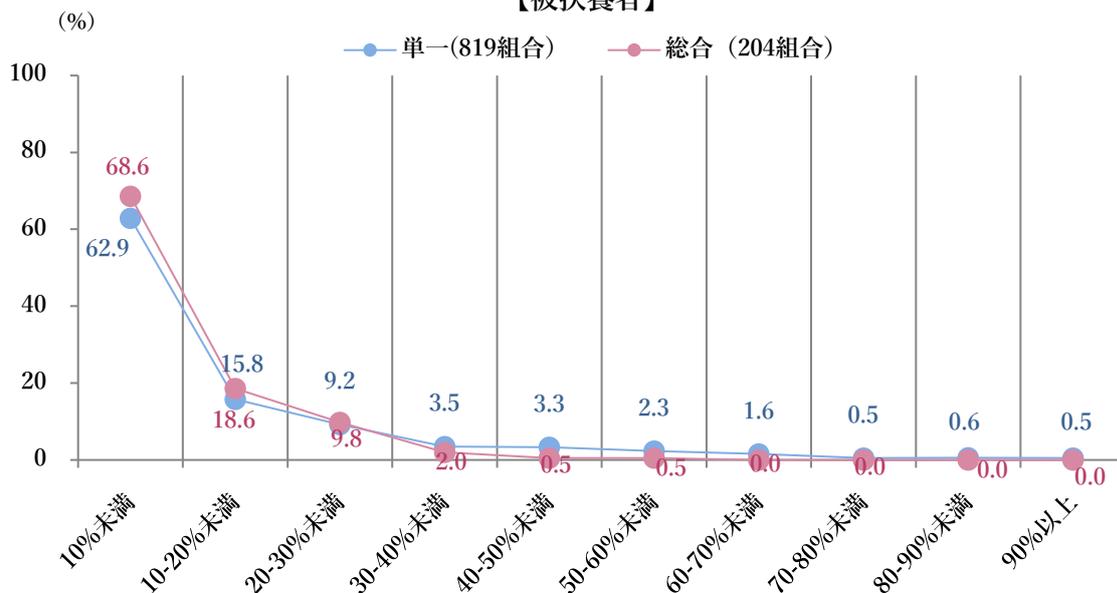
特定保健指導実施率別組合数

【被扶養者】



特定保健指導実施率別構成割合

【被扶養者】



<sup>14</sup> 特定保健指導対象者が存在しない組合（単一：11組合 総合：0組合）は集計対象から除いている。

(3) 組合形態・年齢階層別にみた保健指導区分別の実施率<sup>15</sup>

① 被保険者

- 被保険者について組合形態別・保健指導区分別の実施率をみると、①積極的支援は単一組合：28.2%、総合組合：11.7%、②動機付け支援相当は単一組合：0.25%、総合組合：0.24%、③モデル実施は単一組合：0.57%、総合組合：0.16%となっており、④動機づけ支援は単一組合：35.6%、総合組合：17.8%となっている。

組合形態・年齢階層・保健指導レベル別 特定保健指導の実施率【被保険者】

年齢階層	組合形態	積極的支援 レベル			動機付け支援 レベル
		①積極的支援	②動機付け 支援相当	③モデル実施	④動機付け支援
合計	単一	28.2%	0.25%	0.57%	35.6%
	総合	11.7%	0.24%	0.16%	17.8%
40-44 歳	単一	29.9%	0.24%	0.65%	10.5%
	総合	11.6%	0.22%	0.16%	18.8%
45-49 歳	単一	28.6%	0.26%	0.63%	8.5%
	総合	11.3%	0.20%	0.20%	18.5%
50-54 歳	単一	28.5%	0.26%	0.55%	1.50%
	総合	11.7%	0.30%	0.16%	18.8%
55-59 歳	単一	27.9%	0.24%	0.46%	40.1%
	総合	12.3%	0.30%	0.14%	19.8%
60-64 歳	単一	23.0%	0.29%	0.41%	12.6%
	総合	11.9%	0.22%	0.13%	19.1%
65-69 歳	単一	89.0%	—	2.20%	18.3%
	総合	123.8%	—	—	15.1%
70-74 歳	単一	25.0%	—	—	14.1%
	総合	—	—	—	14.7%

<sup>15</sup> 本調査で取り扱う特定保健指導の実施率は、国への実績報告に記録する特定保健指導実施率と同様に前年度繰越分を含む値となっている。このため、P8 同様、特定保健指導終了者数が特定保健指導対象者数を上回り、特定保健指導の実施率が 100%を超えることがある。

② 被扶養者

- 被扶養者について組合形態別・保健指導区分別の実施率をみると、①積極的支援は単一組合：10.5%、総合組合：6.9%、②動機付け支援相当は単一組合：0.0%、総合組合：0.0%、③モデル実施は単一組合：0.15%、総合組合は未実施となっており、④動機づけ支援は単一組合：15.9%、総合組合：11.3%となっている。

組合形態・年齢階層・保健指導レベル別 特定保健指導の実施率【被扶養者】

年齢階層	組合形態	積極的支援 レベル			動機付け支援 レベル
		①積極的支援	②動機付け 支援相当	③モデル実施	④動機付け支援
合計	単一	10.5%	0.0%	0.15%	15.9%
	総合	6.9%	0.0%	—	11.3%
40-44 歳	単一	11.5%	—	0.13%	15.5%
	総合	6.4%	—	—	10.6%
45-49 歳	単一	11.6%	0.0%	0.20%	17.1%
	総合	5.9%	—	—	10.0%
50-54 歳	単一	9.8%	—	0.14%	17.1%
	総合	7.0%	—	—	11.5%
55-59 歳	単一	10.8%	—	0.1%	16.8%
	総合	7.4%	0.12%	—	12.7%
60-64 歳	単一	8.9%	0.1%	0.20%	13.6%
	総合	7.9%	0.1%	—	13.4%
65-69 歳	単一	14.3%	—	—	12.1%
	総合	—	—	—	12.0%
70-74 歳	単一	—	—	—	10.3%
	総合	—	—	—	9.1%